

大学番号 私立60

注3

設置年度

平成

30年度

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

和洋女子大学

看護学部

看護学科

注2

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 和洋学園
令和3年5月1日現在

目次

看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 和洋学園

(2) 大学名

和洋女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒272-0827

千葉県市川市国府台2-1-18

(〒272-8533 千葉県市川市国府台2-3-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナガサカ ケンジロウ) 長坂 健二郎 (平成27年5月)		
学長	(キシダ コウジ) 岸田 宏司 (平成24年4月)		
学部長	(トネ ヨウコ) 刀根 洋子 (平成30年4月)		
学科長等	(ナカザワ アケミ) 中澤 明美 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	4年	100人	-年次人	400人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	100人 100 (-) [-]	—人 — (-) [-]	100人 100 (-) [-]	—人 — (-) [-]	100人 100 (-) [-]	—人 — (-) [-]	100人 100 (-) [-]	—人 — (-) [-]	—人 — (-) [-]	—人 — (-) [-]	1.04倍	—	
志願者数	335 (-) [-]	— (-) [-]	574 (-) [-]	— (-) [-]	523 (-) [-]	— (-) [-]	276 (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]			
受験者数	314 (-) [-]	— (-) [-]	556 (-) [-]	— (-) [-]	504 (-) [-]	— (-) [-]	259 (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]			
合格者数	251 (-) [-]	— (-) [-]	262 (-) [-]	— (-) [-]	197 (-) [-]	— (-) [-]	249 (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]			
B 入学者数	114 (-) [-]	— (-) [-]	120 (-) [-]	— (-) [-]	93 (-) [-]	— (-) [-]	91 (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.14		1.20		0.93		0.91						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	114 [-] (-)	— [-] (-)	120 [-] (-)	— [-] (-)	93 [-] (-)	— [-] (-)	91 [-] (-)	— [-] (-)						
2年次	/		110 [-] (-)	— [-] (-)	123 [-] (3)	— [-] (-)	95 [-] (2)	— [-] (-)						
3年次			/		/		103 [-] (-)	— [-] (-)	119 [-] (1)	— [-] (-)				
4年次							/		/		/		100 [-] (-)	— [-] (-)
計			114 [-] (-)	230 [-] (-)	319 [-] (3)	405 [-] (3)								

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	114 人	3 人	平成30年度	3 人	0 人	就学意欲低下(1人)、就職(1人)、その他(1人)
令和元年度	230 人	4 人	平成30年度	4 人	0 人	学内転籍(1人)、就職(1人)、除籍(1人) 学生個人の心身に関する事情(1人)、
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	319 人	1 人	平成30年度	3 人	0 人	就職(2人)、他の教育機関への入学・転学(1人)
			令和元年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、就職(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	405 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		8 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{114} = \boxed{2.63} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{230} = \boxed{1.73} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{319} = \boxed{0.31} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{405} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通総合科目	キャリアデザイン基礎ゼミ	1前・後		2							2
	パソコンの基礎と応用	1前	2			12	10	7	6		2
	哲学への誘い	1前・後		2							1
	日本の文学	1前・後		2							2
	外国の文学	1後		2							1
	ジェンダーと文学	1前		2							1
	表現と創作	1前・後		2							2
	こんにちの文化	1前		2							1
	歴史学	1前		2							1
	日本の美術	1前		2							1
	西洋の美術	1後		2							1
	音楽の歴史	1後		2							1
	音楽の楽しみ	1前		2							1
	手書き文字の世界	1前・後		2							2
	漢字・かな文字の変遷	1前・後		2							2
	日本国憲法	1前・後		2							1
	憲法と人権	1前・後		2							1
	国際関係入門	1前・後		2							1
	経済の仕組み	1前・後		2							2
	社会の仕組み	1前・後		2							2
	20世紀の日本	1前・後		2							1
	家族と社会	1前・後		2							1
	家族と福祉	1前・後		2							1
	服装の科学	1前・後		2							2
	ファッションの文化	1前・後		2							2
	色彩の科学	1前		2							1
	健康と食生活	1前・後		2							2
	住まいとデザイン	1前・後		2							1
	社会福祉の展望	1後		2							1
	加齢と高齢者の科学	1前		2							1
	こどもと育児	1前・後		2							1
	化学	1前・後		2							1
	数理と発想	1後		2							1
	看護の知識	1前・後		2		5					2
	社会貢献と実践	1前		2							2
	心理の科学	1前		2							2
	家族とジェンダー	1前・後		2							1
	人間の発達	1前・後		2							2
	生命の科学	1前・後		2							1
	現代の教育	1前・後		2							3
	遺跡に学ぶ	1後		2							1
	生命と医療の倫理	1後		2							1
	女性と美容	1後		2							1
	健康の科学	1前・後		2							3
	スポーツ実習	1前・後		1							2
	フィットネス実習	1後		1							1
	海外語学研修	1前・後		2							3
	海外文化研修	1前・後		2							1
	英語a-I	1前	1								3
	英語a-II	1後	1								3
	英語b-I	1前	1								3
	英語b-II	1後	1								3
	小計(53科目)	-									

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通総合科目	キャリアデザイン基礎ゼミ	1前・後		2							1
	パソコンの基礎と応用	1前	2			10	10	5	7		3
	ベーシックラーニング	1前・後		2							3
	哲学への誘い	1前・後		2							1
	日本の文学	1前・後		2							3
	外国の文学	1後		2							1
	ジェンダーと文学	1前		2							1
	表現と創作	1前・後		2							1
	こんにちの文化	1前		2							1
	歴史学	1前・後		2							1
	日本の美術	1前		2							1
	西洋の美術	1後		2							1
	音楽の歴史	1後		2							1
	音楽の楽しみ	1前		2							1
	手書き文字の世界	1前・後		2							1
	漢字・かな文字の変遷	1前・後		2							1
	日本国憲法	1前・後		2							1
	憲法と人権	1前・後		2							1
	国際関係入門	1前・後		2							1
	経済の仕組み	1前・後		2							1
	社会の仕組み	1前・後		2							1
	20世紀の日本	1後		2							1
	家族と社会	1後		2							1
	家族と福祉	1前・後		2							1
	服装の科学	1前・後		2							1
	ファッションの文化	1前・後		2							1
	色彩の科学	1前		2							1
	健康と食生活	1前・後		2							2
	住まいとデザイン	1後		2							1
	社会福祉の展望	1後		2							1
	加齢と高齢者の科学	1後		2							1
	こどもと育児	1後		2							1
	化学	1前・後		2							1
	数理と発想	1後		2							1
	看護の知識	1前・後		2		5					1
	社会貢献と実践	1前		2							2
	心理の科学	1前		2							2
	家族とジェンダー	1前・後		2							2
	人間の発達	1前・後		2							2
	生命の科学	1前・後		2							1
	現代の教育	1前・後		2							2
	文化遺産に学ぶ	1前・後		2							2
	生命と医療の倫理	1後		2							1
	女性と美容	1前		2							2
	健康の科学	1前・後		2							4
	スポーツ実習	1前・後		1							4
	フィットネス実習	1前・後		1							2
	海外語学研修	1前・後		2							3
	海外文化研修	1前・後		2							0
	英語a-I	1前	1								2
	英語a-II	1後	1								2
	英語b-I	1前	1								2
	英語b-II	1後	1								2
小計(54科目)	-										

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	看護学セミナー	1前	1			11	10	6	6			
	礼法	1前	1									2
	ホスピタリティ	1後	1									1
	アサーティブコミュニケーション	2前	1									1
	解剖生理学 I	1前	2			1						1
	解剖生理学 II	1後	2			1						1
	解剖生理学実験	2前	1			1						
	生化学	1前	1									1
	栄養学	2前	1									1
	薬理学	2後	1									1
	病態と治療 I (内科系)	1後	2									1
	病態と治療 II (外科系)	2前	2									1
	病態と治療 III (産婦人科・小児疾患)	2前	2									1
	病態と治療 IV (精神・神経疾患)	2前	2									1
	病理学総論	1後	1									1
	公衆衛生学	2前	1			1		1				2
	社会保障論	3前	1									1
	看護と関係法規	3前	2									1
	疫学	3前	2									1
	保健医療福祉行政論	3前	3									1
	保健医療情報学	1後		2				1				
	保健統計学	3前	2									1
	チーム医療	3前	1									3
	看護理論	2後	1			1						
	看護学概論	1前	2			1						
	看護基本技術 I (生活の援助技術)	1通	2				2					
	看護基本技術 II (フィジカルアセスメント)	2通	2				3					
	看護基本技術 III (臨床看護技術)	2前	2				1					
	看護基本技術 IV (看護の計画と展開)	2後	1			1	3		1			
	基礎看護学実習 I	1後	1			1	6	2	6	5		
	基礎看護学実習 II	2後	2			5	5	2	2	4		
	成人看護学概論	2前	1			2						
	成人看護援助論 I	2前	2			1		2	1			
	成人看護援助論 II	2後	2			1	1	1	1			
	成人看護援助論 III	3前	1				1	1	1			
	成人看護学実習 I (急性期・回復期)	3後	3			2	1	2	2	5		
	成人看護学実習 II (慢性期)	3後	3			2	1	2	3	3		
	老年看護学概論	1後	1			1						
	老年看護援助論 I	2後	2			1	1		1			
	老年看護援助論 II	3前	1			1	1		1			
老年看護学実習 I (施設)	2前	1			1	1	1	4	3			
老年看護学実習 II (病院)	3後	2			1	1		3	1			
老年看護学実習 III (包括支援センター)	3後	1			2	1	1	2	1			
小児看護学概論	2前	1			1							
小児看護援助論 I	2後	2			1	1	1					
小児看護援助論 II	3前	1			1	1	1					
小児看護学実習	3後	2			1	1	1		1			
母性看護学概論	2前	1			2							
母性看護援助論 I	2後	2			1	1						
母性看護援助論 II	3前	1			1	1						
母性看護学実習	3後	2			2	1		1	1			
精神看護学概論	2前	1			1	1						
精神看護援助論 I	2後	2			1	1	1					
精神看護援助論 II	3前	1			1	1	1					
精神看護学実習	3後	2			1	1	1		1			
在宅看護学概論	2前	1			1							
在宅看護援助論 I	2後	2			1		1					

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	看護学セミナー	1前	1			9	10	4	7			
	礼法	1前	1									2
	ホスピタリティ	1後	1									1
	アサーティブコミュニケーション	2前	1									1
	解剖生理学 I	1前	2			1						1
	解剖生理学 II	1後	2			1						1
	解剖生理学実験	2前	1			1						
	生化学	1前	1									1
	栄養学	2前	1									1
	薬理学	1前	1									1
	病態と治療 I (内科系)	1後	2									1
	病態と治療 II (外科系)	2前	2									1
	病態と治療 III (産婦人科・小児疾患)	2前	2									1
	病態と治療 IV (精神・神経疾患)	2前	2									1
	病理学総論	1後	1									1
	公衆衛生学	2前	1			1		1				2
	社会保障論	3前	1									1
	看護と関係法規	3前	2									1
	疫学	3前	2									1
	保健医療福祉行政論	3前	3									1
	保健医療情報学	1後		2				1				
	保健統計学	3前	2									1
	チーム医療	3前	1									3
	看護理論	2後	1			1						
	看護学概論	1前	2			1						
	看護基本技術 I (生活の援助技術)	1通	2				1	3		1		
	看護基本技術 II (フィジカルアセスメント)	2通	2				1	3		1		
	看護基本技術 III (臨床看護技術)	2前	2				1	3		1		
	看護基本技術 IV (看護の計画と展開)	2後	1			1	3		1			
	基礎看護学実習 I	1前	1			1	10	3	7	5		
	基礎看護学実習 II	2後	2			3	10	2	7	4		
	成人看護学概論	2前	1			1						
	成人看護援助論 I	2前	2			1	1	1	1			
	成人看護援助論 II	2後	2			1	1	1	1			
	成人看護援助論 III	3前	1			1	1	1	1			
	成人看護学実習 I (急性期・回復期)	3通	3			1	1	1	1	5		
	成人看護学実習 II (慢性期)	3通	3			1	1	1	1	3		
	老年看護学概論	1後	1			1						
	老年看護援助論 I	2前	2			1	1		1			
	老年看護援助論 II	3前	1			1	1		1			
老年看護学実習 I (施設)	2通	1			1	1	1	3	3			
老年看護学実習 II (病院)	3通	2			1	1		1	1			
老年看護学実習 III (包括支援センター)	3通	1			2	1	1	3	1			
小児看護学概論	2前	1			1							
小児看護援助論 I	2後	2			1	1	0	1				
小児看護援助論 II	3前	1			1	1	0	1				
小児看護学実習	3通	2			1	1	0	1	1			
母性看護学概論	2前	1			2							
母性看護援助論 I	2後	2			1	1		1				
母性看護援助論 II	3前	1			1	1		1				
母性看護学実習	3通	2			2	1		1	1			
精神看護学概論	2前	1			1	1						
精神看護援助論 I	2後	2			1	1	1					
精神看護援助論 II	3前	1			1	1	1					
精神看護学実習	3通	2			1	1	1		1			
在宅看護学概論	2前	1			0	1					0	
在宅看護援助論 I	2後	2			0	1	1					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通総合科目	キャリアデザイン基礎ゼミ	1前・後	2			12	9	6	6		2
	パソコンの基礎と応用	1前・後	2								2
	哲学への誘い	1前・後	2								1
	日本の文学	1後	2								2
	外国の文学	1後	2								1
	ジェンダーと文学	1前	2								1
	表現と創作	1前・後	2								2
	こんにちの文化	1前	2								1
	歴史学	1前	2								1
	日本の美術	1前	2								1
	西洋の美術	1後	2								1
	音楽の歴史	1後	2								1
	音楽の楽しみ	1前	2								1
	手書き文字の世界	1前・後	2								1
	漢字・かな文字の変遷	1前・後	2								1
	日本国憲法	1前・後	2								1
	憲法と人権	1前・後	2								1
	国際関係入門	1前・後	2								1
	経済の仕組み	1前・後	2								2
	社会の仕組み	1前・後	2								1
	20世紀の日本	1後	2								1
	家族と社会	1後	2								1
	家族と福祉	1前・後	2								1
	服装の科学	1前・後	2								2
	ファッションの文化	1前・後	2								1
	色彩の科学	1前	2								1
	健康と食生活	1前・後	2								2
	住まいとデザイン	1後	2								1
	社会福祉の展望	1後	2								1
	加齢と高齢者の科学	1前	2								1
	こどもと育児	1前・後	2								1
	化学	1前・後	2								1
	数理と発想	1前	2								1
	看護の知識	1前・後	2			4					2
	社会貢献と実践	1前	2								2
	心理の科学	1前	2								2
	家族とジェンダー	1前・後	2								1
	人間の発達	1前・後	2								2
	生命の科学	1前・後	2								1
	現代の教育	1前・後	2								3
	遺跡に学ぶ	1後	2								0
	生命と医療の倫理	1後	2								1
	女性と美容	1後	2								1
	健康の科学	1前・後	2								3
	スポーツ実習	1前・後	1								3
	フィットネス実習	1後	1								2
	海外語学研修	1前・後	2								3
	海外文化研修	1通年集中	2								1
	英語a-I	1前	1								3
	英語a-II	1後	1								3
	英語b-I	1前	1								3
	英語b-II	1後	1								3
	小計(53科目)	-									

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通総合科目	キャリアデザイン基礎ゼミ	1前・後	2			12	9	6	6		2
	パソコンの基礎と応用	1前・後	2					1			3
	ベーシックラーニング	1前・後	2								3
	哲学への誘い	1前・後	2								1
	日本の文学	1前・後	2								2
	外国の文学	1後	2								1
	ジェンダーと文学	1前	2								1
	表現と創作	1前・後	2								2
	こんにちの文化	1前	2								1
	歴史学	1前・後	2								1
	日本の美術	1前	2								1
	西洋の美術	1後	2								1
	音楽の歴史	1後	2								1
	音楽の楽しみ	1前	2								1
	手書き文字の世界	1前・後	2								1
	漢字・かな文字の変遷	1後	2								2
	日本国憲法	1前・後	2								1
	憲法と人権	1前・後	2								1
	国際関係入門	1前・後	2								1
	経済の仕組み	1前・後	2								2
	社会の仕組み	1前・後	2								1
	20世紀の日本	1後	2								1
	家族と社会	1後	2								1
	家族と福祉	1前・後	2								1
	服装の科学	1前・後	2								2
	ファッションの文化	1前・後	2								1
	色彩の科学	1前	2								1
	健康と食生活	1前・後	2								2
	住まいとデザイン	1後	2								1
	社会福祉の展望	1後	2								1
	加齢と高齢者の科学	1前	2								1
	こどもと育児	1前・後	2								1
	化学	1前・後	2								1
	数理と発想	1前	2								1
	看護の知識	1前・後	2				5				2
	社会貢献と実践	1通年集中	2								2
	心理の科学	1前	2								2
	家族とジェンダー	1前・後	2								1
	人間の発達	1前・後	2								2
	生命の科学	1前・後	2								1
	現代の教育	1前・後	2								3
	文化遺産に学ぶ	1後	2								1
	生命と医療の倫理	1後	2								1
	女性と美容	1前	2								2
	健康の科学	1前・後	2								4
	スポーツ実習	1前・後	1								4
	フィットネス実習	1後	1								2
	海外語学研修	1前・後	2								3
	海外文化研修	1通年集中	2								1
	英語a-I	1前	1								4
	英語a-II	1後	1								4
	英語b-I	1前	1								4
	英語b-II	1後	1								4
	小計(54科目)	-									

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	看護学セミナー	1前	1			10	9	5	6		
	礼法	1前	1								2
	ホスピタリティ	1後	1								1
	アサーティブコミュニケーション	2前	1								1
	解剖生理学 I	1前	2			1					1
	解剖生理学 II	1後	2			1					1
	解剖生理学実験	2前	1			1					
	生化学	1前	1								1
	栄養学	2前	1								1
	薬理学	2後	1								1
	病態と治療 I (内科系)	1後	2								3
	病態と治療 II (外科系)	2前	2								1
	病態と治療 III (産婦人科・小児疾患)	2前	2								1
	病態と治療 IV (精神・神経疾患)	2前	2								1
	病理学総論	1後	1								3
	公衆衛生学	2前	1			1		1			2
	社会保障論	3前	1								1
	看護と関係法規	3前	2								1
	疫学	3前	2								1
	保健医療福祉行政論	3前	3								1
	保健医療情報学	1後		2				1			
	保健統計学	3前	2								1
	チーム医療	3前	1								3
	看護理論	2後	1								
	看護学概論	1前	2			1					
	看護基本技術 I (生活の援助技術)	1通	2				2				
	看護基本技術 II (フィジカルアセスメント)	2通	2				3				
	看護基本技術 III (臨床看護技術)	2前	2				1				
	看護基本技術 IV (看護の計画と展開)	2後	1			1	3		1		
	基礎看護学実習 I	1後	1			1	6	2	6	5	
	基礎看護学実習 II	2後	2			5	4	2	2	4	
	成人看護学概論	2前	1			2					
	成人看護援助論 I	2前	2			1		2	1		
	成人看護援助論 II	2後	2			1	1	1	1		
	成人看護援助論 III	3前	1				1	1	1		
	成人看護学実習 I (急性期・回復期)	3後	3			2	1	2	2	5	
	成人看護学実習 II (慢性期)	3後	3			2	1	2	3	3	
	老年看護学概論	1後	1			1					
	老年看護援助論 I	2後	2			1	1		1		
	老年看護援助論 II	3前	1			1	1		1		
老年看護学実習 I (施設)	2前	1			1	1	1	4	3		
老年看護学実習 II (病院)	3後	2			1	1		3	1		
老年看護学実習 III (包括支援センター)	3後	1			2	1	1	2	1		
小児看護学概論	2前	1			1						
小児看護援助論 I	2後	2			1	1	1				
小児看護援助論 II	3前	1			1	1	1				
小児看護学実習	3後	2			1	1	1		1		
母性看護学概論	2前	1			2						
母性看護援助論 I	2後	2			1	1					
母性看護援助論 II	3前	1			1	1					
母性看護学実習	3後	2			2	1		1	1		
精神看護学概論	2前	1			0	1					
精神看護援助論 I	2後	2			0	1	0				
精神看護援助論 II	3前	1			0	1	0				
精神看護学実習	3後	2			0	1	0		1		
在宅看護学概論	2前	1			1						
在宅看護援助論 I	2後	2			1		1				
在宅看護援助論 II	3前	1			1		1				

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	看護学セミナー	1前	1			11	9	5	6		
	礼法	1前	1								2
	ホスピタリティ	1後	1								1
	アサーティブコミュニケーション	2前	1								1
	解剖生理学 I	1前	2			1					1
	解剖生理学 II	1後	2			1					1
	解剖生理学実験	2前	1			1					
	生化学	1前	1								1
	栄養学	2前	1								1
	薬理学	2後	1								1
	病態と治療 I (内科系)	1後	2								1
	病態と治療 II (外科系)	2前	2								1
	病態と治療 III (産婦人科・小児疾患)	2前	2								1
	病態と治療 IV (精神・神経疾患)	2前	2								1
	病理学総論	1後	1								1
	公衆衛生学	2前	1			1		1			2
	社会保障論	3前	1								1
	看護と関係法規	3前	2								1
	疫学	3前	2								1
	保健医療福祉行政論	3前	3								1
	保健医療情報学	1後		2				1			
	保健統計学	3前	2								1
	チーム医療	3前	1								3
	看護理論	2後	1					1			
	看護学概論	1前	2			1					
	看護基本技術 I (生活の援助技術)	1通	2				2	3	1		
	看護基本技術 II (フィジカルアセスメント)	2通	2				3	3	1		
	看護基本技術 III (臨床看護技術)	2前	2				3	3	1		
	看護基本技術 IV (看護の計画と展開)	2後	1			1	3	1			
	基礎看護学実習 I	1後	1			1	9	4	6	5	
	基礎看護学実習 II	2後	2			5	9	3	5	4	
	成人看護学概論	2前	1			2					
	成人看護援助論 I	2前	2			1	1	1	1		
	成人看護援助論 II	2後	2			1	1	1	1		
	成人看護援助論 III	3前	1			2	1	1	1		
	成人看護学実習 I (急性期・回復期)	3後	3			2	1	1	2	5	
	成人看護学実習 II (慢性期)	3後	3			2	1	1	3	3	
	老年看護学概論	1後	1			1					
	老年看護援助論 I	2後	2			1	1		1		
	老年看護援助論 II	3前	1			1	1		1		
老年看護学実習 I (施設)	2前	1			1	1	1	4	3		
老年看護学実習 II (病院)	3後	2			1	1		2	1		
老年看護学実習 III (包括支援センター)	3後	1			2	1	1	2	1		
小児看護学概論	2前	1			1						
小児看護援助論 I	2後	2			1	1	1				
小児看護援助論 II	3前	1			1	1	1				
小児看護学実習	3後	2			1	1	1		1		
母性看護学概論	2前	1			2						
母性看護援助論 I	2後	2			1	1					
母性看護援助論 II	3前	1			1	1					
母性看護学実習	3後	2			2	1		1	1		
精神看護学概論	2前	1			1	1					
精神看護援助論 I	2後	2			1	1	1				
精神看護援助論 II	3前	1			1	1	1				
精神看護学実習	3後	2			1	1	1		1		
在宅看護学概論	2前	1			1						
在宅看護援助論 I	2後	2			1		1				
在宅看護援助論 II	3前	1			1		1				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	看護治療技術演習	3前	1			1					5
	在宅看護学実習	4前	2			1		1	1	1	
	公衆衛生看護学概論	1後	2			1					
	公衆衛生看護展開論Ⅰ(地域)	2後		2		1	1				1
	公衆衛生看護展開論Ⅱ(学校保健)	3前		2		1	1				
	公衆衛生看護展開論Ⅲ(産業保健)	2後	2			1	1				
	公衆衛生看護展開論Ⅳ(地域診断)	3前		1		1	1	1			
	公衆衛生看護管理論	3前		1		1					
	公衆衛生看護学実習Ⅰ(市町村)	4前		2		1	1				
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(保健所)	4前		1		1	1				
	公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業・学校保健)	4前		2		1	1				
	災害と地域看護活動	4後		1							2
	看護倫理	3前		1		1					
	ヘルスプロモーション	1後		1		1					1
	感染看護学	2前		1							2
	国際理解と看護	4後									
	看護教育学	4後		1		1					
	看護マネジメント	4後		1		1		1			
	産業看護学	2前		1							1
	がん看護学	2後		1							1
	看護研究Ⅰ	2前		1		3					
看護研究Ⅱ	3通		1		10	9	5	4			
看護研究Ⅲ	4通		2		10	9	5	4			
看護の統合実践実習	4前		2		10	9	5	6	7		
小計(82科目)	-										
合計(135科目)	-										
卒業要件及び履修方法											
共通総合科目必修6単位、選択14単位以上の計20単位以上、専門教育科目必修106単位、選択2単位以上を修得し、計128単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限：48単位(年間))											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	看護治療技術演習	3前	1			1					5
	在宅看護学実習	4前	2			1		1	1	1	
	公衆衛生看護学概論	1後	2			1					
	公衆衛生看護展開論Ⅰ(地域)	2後		2		1	1				1
	公衆衛生看護展開論Ⅱ(学校保健)	3前		2		1	1				
	公衆衛生看護展開論Ⅲ(産業保健)	2後	2			1	1				
	公衆衛生看護展開論Ⅳ(地域診断)	3前		1		1	1	1			
	公衆衛生看護管理論	3前		1		1					
	公衆衛生看護学実習Ⅰ(市町村)	4前		2		1	1				
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(保健所)	4前		1		1	1				
	公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業・学校保健)	4前		2		1	1				
	災害と地域看護活動	4後		1							1
	看護倫理	3前		1		1					
	ヘルスプロモーション	1後		1		1					1
	感染看護学	2前		1							2
	国際理解と看護	4後									3
	看護教育学	4後		1		1					
	看護マネジメント	4後		1		1		1			
	産業看護学	2前		1							1
	がん看護学	2後		1							1
	看護研究Ⅰ	2前		1		3					
看護研究Ⅱ	3通		1		12	9	5	3			
看護研究Ⅲ	4通		2		12	9	5	3			
看護の統合実践実習	4前		2		11	9	5	6	7		
小計(82科目)	-										
合計(136科目)	-										
卒業要件及び履修方法											
共通総合科目必修6単位、選択14単位以上の計20単位以上、専門教育科目必修106単位、選択2単位以上を修得し、計128単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限：48単位(年間))											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通総合科目	キャリアデザイン	1前・後		2								1
	基礎ゼミ	1前	2			10	10	5	7			
	パソコンの基礎と応用	1前・後		2				1				3
	ベーシックラーニング	1前・後		2								3
	哲学への誘い	1前・後		2								1
	日本の文学	1前・後		2								2
	外国の文学	1後		2								1
	ジェンダーと文学	1前		2								1
	表現と創作	1前・後		2								2
	こんにちの文化	1前		2								1
	歴史学	1前・後		2								1
	日本の美術	1前		2								1
	西洋の美術	1後		2								1
	音楽の歴史	1後		2								1
	音楽の楽しみ	1前		2								1
	手書き文字の世界	1前・後		2								1
	漢字・かな文字の変遷	1前・後		2								1
	日本国憲法	1前・後		2								1
	憲法と人権	1前・後		2								1
	国際関係入門	1前・後		2								1
	経済の仕組み	1前・後		2								1
	社会の仕組み	1前・後		2								1
	20世紀の日本	1前		2								1
	家族と社会	1前		2								1
	家族と福祉	1前・後		2								1
	服装の科学	1前・後		2								1
	ファッションの文化	1前・後		2								2
	色彩の科学	1前		2								1
	健康と食生活	1前・後		2								2
	住まいとデザイン	1後		2								1
	社会福祉の展望	1後		2								1
	加齢と高齢者の科学	1後		2								1
	こどもと育児	1前・後		2								2
	化学	1前・後		2								1
	数理と発想	1後		2								1
	看護の知識	1前・後		2			5					1
	社会貢献と実践	1通年集中		2								0
	心理の科学	1前		2								2
	家族とジェンダー	1前・後		2								2
	人間の発達	1前・後		2								2
	生命の科学	1前・後		2								1
	現代の教育	1後		2								2
	文化遺産に学ぶ	1前・後		2								2
	生命と医療の倫理	1後		2								1
	女性と美容	1前		2								1
	健康の科学	1前・後		2								4
	スポーツ実習	1前・後		1								4
	フィットネス実習	1後		1								3
	海外語学研修	1後		2								1
	海外文化研修	1通年集中		2								0
	英語a-I	1前	1									2
	英語a-II	1後	1									2
	英語b-I	1前	1									2
	英語b-II	1後	1									2
小計(54科目)	-											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	看護学セミナー	1前	1			9	10	4	7			
	礼法	1後	1									2
	ホスピタリティ	1後	1									0
	アサーティブコミュニケーション	2前	1									1
	解剖生理学 I	1前	2			1						1
	解剖生理学 II	1後	2			1						1
	解剖生理学実験	2前	1			1						
	生化学	1前	1									1
	栄養学	2前	1									1
	薬理学	2後	1									1
	病態と治療 I (内科系)	1後	2									1
	病態と治療 II (外科系)	2前	2									1
	病態と治療 III (産婦人科・小児疾患)	2前	2									1
	病態と治療 IV (精神・神経疾患)	2前	2									1
	病理学総論	1後	1									1
	公衆衛生学	2前	1			1		1				2
	社会保障論	3前	1									1
	看護と関係法規	3前	2									1
	疫学	3前	2									1
	保健医療福祉行政論	3前	3									1
	保健医療情報学	1後		2					1			
	保健統計学	3前	2									1
	チーム医療	3前	1									3
	看護理論	2後	1			1						
	看護学概論	1前	2			1						
	看護基本技術 I (生活の援助技術)	1通	2			1	3		1			
	看護基本技術 II (フィジカルアセスメント)	2通	2			1	3		1			
	看護基本技術 III (臨床看護技術)	2前	2			1	3		1			
	看護基本技術 IV (看護の計画と展開)	2後	1			1	3		1			
	基礎看護学実習 I	1後	1			1	10	3	7	5		
	基礎看護学実習 II	2後	2			3	10	2	7	4		
	成人看護学概論	2前	1			1						
	成人看護援助論 I	2前	2			1	1	1	2			
	成人看護援助論 II	2後	2			0	1	1	2			
	成人看護援助論 III	3前	1			1	1	1	2			
	成人看護学実習 I (急性期・回復期)	3後	3			1	1	1	3	5		
	成人看護学実習 II (慢性期)	3後	3			1	1	1	3	3		
	老年看護学概論	1後	1			1						
	老年看護援助論 I	2後	2			1	1		1			
	老年看護援助論 II	3前	1			1	1		1			
	老年看護学実習 I (施設)	2前	1			1	1	1	4	3		
	老年看護学実習 II (病院)	3後	2			1	1		2	1		
	老年看護学実習 III (包括支援センター)	3後	1			2	1	1	2	1		
	小児看護学概論	2前	1			1						
	小児看護援助論 I	2後	2			1	1	0				
小児看護援助論 II	3前	1			1	1	0					
小児看護学実習	3後	2			1	1	0		1			
母性看護学概論	2前	1			2							
母性看護援助論 I	2後	2			1	1						
母性看護援助論 II	3前	1			1	1						
母性看護学実習	3後	2			2	1		1	1			
精神看護学概論	2前	1			1	1						
精神看護援助論 I	2後	2			1	1	1					
精神看護援助論 II	3前	1			1	1	1					
精神看護学実習	3後	2			1	1	1		1			
在宅看護学概論	2前	1			0	1					1	
在宅看護援助論 I	2後	2			0	1	1					

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	在宅看護援助論Ⅱ	3前	1			0	1	1				
	看護治療技術演習	3前	1			0	1					5
	在宅看護学実習	4前	2			0	1	1	0	1		
	公衆衛生看護学概論	1後	2			1						
	公衆衛生看護展開論Ⅰ(地域)	2後		2		1	1		1			1
	公衆衛生看護展開論Ⅱ(学校保健)	3前		2		1	1		1			
	公衆衛生看護展開論Ⅲ(産業保健)	2後	2			1	1		1			
	公衆衛生看護展開論Ⅳ(地域診断)	3前		1		1	1	1	1			
	公衆衛生看護管理論	3前		1		1						
	公衆衛生看護学実習Ⅰ(市町村)	4前		2		1	1		1			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(保健所)	4前		1		1	1		1			
	公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業・学校保健)	4前		2		1	1		1			
	災害と地域看護活動	4後		1								2
	看護倫理	3前	1			1						
	ヘルスプロモーション	1後	1			1						1
	感染看護学	2前	1									2
	国際理解と看護	4後		1								3
	看護教育学	4後		1		1						
	看護マネジメント	4後		1		1		0				
	産業看護学	2前	1									1
	がん看護学	2後	1									1
	看護研究Ⅰ	2前	1			3						
	看護研究Ⅱ	3通	1			10	10	5	5			
	看護研究Ⅲ	4通	2			10	10	4	4			
	看護の統合実践実習	4前	2			9	10	4	7	7		
	小計(82科目)	-										
	合計(136科目)	-										
卒業要件及び履修方法												
共通総合科目必修6単位、選択14単位以上の計20単位以上、 専門教育科目必修106単位、選択2単位以上を修得し、 計128単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限：48単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・専任教員の就任辞退により、「基礎ゼミ」の専任教員配置を「教授12」から「教授11」「准教授10」から「准教授9」「講師7」から「講師6」に変更。
 - ・兼任教員の育児休業取得により、「日本の文学」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
 - ・兼任教員の就任1年延期により、「手書き文字の世界」の兼任教員配置を「兼任2」から「兼任1」に変更。
 - ・兼任教員の就任1年延期により、「漢字・かな文字の変遷」の兼任教員配置を「兼任2」から「兼任1」に変更。
 - ・兼任教員の役職者コマ数減により、「社会の仕組み」を兼任教員配置を「兼任2」から「兼任1」に変更。
 - ・兼任教員の役職者コマ数減により、「20世紀の日本」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
 - ・兼任教員の役職者コマ数減により、「家族と社会」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
 - ・申請時の誤表記により、「住まいとデザイン」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
 - ・兼任教員の開講クラス調整により、「数理と発想」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
 - ・専任教員の就任辞退により、「看護の知識」の「教授5」から「教授4」に変更。
 - ・兼任教員の就任辞退により、「遺跡に学ぶ」の兼任教員配置を「兼任1」から「兼任0」に変更。
 - ・兼任教員の担当科目調整により、「スポーツ実習」の兼任教員配置を「兼任2」から「兼任3」に変更。
 - ・兼任教員の担当科目調整により、「フィットネス実習」を兼任教員配置を「兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
 - ・申請時の誤表記により、「海外文化研修」の配当年次を「1前・後」から「1通年集中」に変更。
 - ・専任教員の就任辞退により、「看護学セミナー」の専任教員配置を「教授11」から「教授10」「講師1」から「講師0」に変更。
-
- ・専任教員の就任辞退により、「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員配置を「准教授5」から「准教授4」に変更。
 - ・専任教員の就任辞退により、「精神看護学概論」の専任教員配置を「教授1」から「教授0」に変更。
 - ・専任教員の就任辞退により、「精神看護援助論Ⅰ」「精神看護援助論Ⅱ」「精神看護学実習」の専任教員配置を「教授1」から「教授0」「講師1」から「講師0」に変更。
 - ・専任教員の就任辞退により、「公衆衛生看護展開論Ⅰ（地域）」「公衆衛生看護展開論Ⅱ（学校保健）」「公衆衛生看護展開論Ⅳ（地域診断）」「公衆衛生看護学実習Ⅰ（市町村）」「公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健所）」「公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業・学校保健）」の専任教員配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
 - ・専任教員の就任辞退により、「看護研究Ⅱ」「看護の統合実践実習」の専任教員配置を「教授11」から「教授10」「准教授10」から「准教授9」「講師6」から「講師5」に変更。
 - ・専任教員の就任辞退により、「看護研究Ⅲ」の専任教員配置を「准教授10」から「准教授9」「講師6」から「講師5」に変更。

【令和元年度】

- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「基礎ゼミ」の専任教員配置を「准教授10」から「准教授9」「講師7」から「講師6」に変更。
 - ・科目担当者の変更により、「パソコンの基礎と応用」の専任教員配置を「講師0」から「講師1」に変更。兼任・兼任教員配置を「2」から「3」に変更。
 - ・新規開講科目開設に伴い、「ベーシックラーニング」を追加。兼任・兼任教員配置は「3」。
 - ・時間割調整により、「歴史学」の配当年次を「1前」から「1前・後」へ変更
 - ・時間割調整により、「漢字・かな文字の変遷」、「20世紀の日本」、「家族と社会」、「住まいとデザイン」の配当年次をそれぞれ「1前・後」から「1後」へ変更
 - ・時間割調整により、「社会貢献と実践」の配当年次を「1前」から「1通年集中」へ変更
 - ・時間割調整により、「数理と発想」の配当年次を「1後」から「1前」へ変更
 - ・兼任教員退職により、「ファッションの文化」の兼任・兼任教員配置を「2」から「1」に変更
-
- ・H30休講科目「遺跡に学ぶ」は、科目変更のため、平成31年度から「文化遺産に学ぶ」として開講。「文化遺産に学ぶ」の兼任・兼任教員配置を「0」から「1」に変更。
 - ・科目担当者の役職者コマ数減のため、「女性と美容」の兼任・兼任教員配置を「1」から「2」に変更。時間割調整により、配当年次を「1後」から「1前」へ変更
 - ・指定保育士養成課程を他学科に設置したためクラス増により、「健康の科学」の兼任・兼任教員配置を「3」から「4」、「スポーツ実習」の兼任・兼任教員配置を「3」から「4」に変更。
 - ・クラス増により、「英語a-I」「英語a-II」「英語b-I」「英語b-II」の兼任・兼任教員配置を「3」から「4」に変更。
-
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「看護学セミナー」の専任教員配置を「准教授10」から「准教授9」、「講師6」から「講師5」に変更。
 - ・専任教員のAC資格審査の結果、「看護基本技術Ⅰ（生活の援助技術）」の専任教員配置を「准教授2」から「准教授3」、「助教0」から「助教1」に変更。
 - ・専任教員のAC資格審査の結果、「看護基本技術Ⅱ（フィジカルアセスメント）」の専任教員配置を、「助教0」から「助教1」に変更。
 - ・専任教員のAC資格審査の結果、「看護基本技術Ⅲ（臨床看護技術）」の専任教員配置を「准教授1」から「准教授3」、「助教0」から「助教1」に変更
 - ・専任教員のAC資格審査の結果、「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員配置を「准教授6」から「准教授9」、「講師2」から「講師4」に変更。
 - ・専任教員のAC資格審査の結果、「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員配置を、「准教授5」から「准教授9」、「講師2」から「講師3」、「助教2」から「助教5」に変更。
 - ・専任教員の就任辞退及びAC資格審査の結果、「成人看護援助論Ⅰ」の専任教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師2」から「講師1」に変更
 - ・専任教員のAC資格審査の結果、「成人看護援助論Ⅲ」の専任教員配置を「教授0」から「教授2」に変更。
 - ・専任教員の就任辞退及びAC資格審査の結果、「成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）」の専任教員配置を「講師2」から「講師1」に変更。
 - ・専任教員の就任辞退及びAC資格審査の結果、「成人看護学実習Ⅱ（慢性期）」の専任教員配置を「講師2」から「講師1」に変更。
 - ・専任教員の就任辞退及びAC資格審査の結果、「老年看護学実習Ⅱ（病院）」の専任教員配置を「助教3」から「助教2」に変更。
-
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「看護研究Ⅱ」の専任教員配置を「教授11」から「教授12」、「准教授10」から「准教授9」、「講師6」から「講師5」、「助教4」から「助教3」に変更。
 - ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「看護研究Ⅲ」の専任教員配置を「教授10」から「教授12」、「准教授10」から「准教授9」、「講師6」から「講師5」、「助教4」から「助教3」に変更。
 - ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「看護の統合実践演習」の専任教員配置を「准教授10」から「准教授9」、「講師6」から「講師5」に変更。
 - ・専任教員の就任辞退により、「公衆衛生看護展開論Ⅰ（地域）」「公衆衛生看護展開論Ⅱ（学校保健）」「公衆衛生看護展開論Ⅲ（産業保健）」「公衆衛生看護展開論Ⅳ（地域診断）」「公衆衛生看護学実習Ⅰ（市町村）」「公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健所）」「公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業・学校保健）」の専任教員配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。

【令和2年度】

- ・兼任教員退職により、「キャリアデザイン」を兼任・兼任教員配置を「2」から「1」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「基礎ゼミ」の専任教員配置を「教授12」から「教授10」、「准教授9」から「准教授10」、「講師6」から「講師5」、「助教6」から「助教7」に変更
- ・兼任教員退職および担当科目調整により、「漢字・かな文字の変遷」の開講期を「1後」から「1前・後」、兼任・兼任教員配置を「2」から「1」に変更
- ・科目担当者の役職者コマ減数のため、「経済の仕組み」の兼任・兼任教員配置を「2」から「1」に変更
- ・時間割調整/役職者コマ減数により、「20世紀の日本」の配当年次を「1後」から「1前」へ変更
- ・時間割調整/役職者コマ減数により、「家族と社会」の配当年次を「1後」から「1前」へ変更
- ・兼任教員退職により、「服装の科学」の兼任・兼任教員配置を「2」から「1」に変更
- ・兼任教員の科目調整により、「ファッションの文化」の兼任・兼任教員配置を「1」から「2」に変更
- ・コロナ感染拡大防止のため、「加齢と高齢者の科学」、の配当年次を「1前」から「1後」に変更
- ・兼任教員就任により、「こどもと育児」の兼任・兼任教員配置を「1」から「2」に変更
- ・兼任教員退職により、「看護の知識」の兼任・兼任教員配置を「2」から「1」に変更
- ・兼任教員退職による授業調整により「社会貢献と実践」を休講。兼任・兼任教員配置を「2」から「0」に変更
- ・兼任教員の担当科目調整により、「家族とジェンダー」の兼任・兼任教員配置を「1」から「2」に変更
- ・兼任教員退職により、「現代の教育」の兼任・兼任教員配置を「3」から「2」に変更
- ・コロナ感染拡大防止のため、「現代の教育」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更
- ・兼任教員の担当科目調整により「文化遺産に学ぶ」の開講期を「1後」から「1前・後」に、兼任・兼任教員配置を「1」から「2」に変更
- ・クラス増により、「フィットネス実習」の兼任・兼任教員配置を「2」から「3」に変更
- ・コロナ感染拡大防止のため「海外語学研修」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。兼任・兼任教員配置を「3」から「1」に変更
- ・コロナ感染拡大防止のため、「海外文化研修」を休講することにより、兼任・兼任教員配置を「1」から「0」に変更
- ・兼任教員の担当科目調整により、「英語a-I」、「英語a-II」、「英語b-I」、「英語b-II」の兼任・兼任教員配置を「4」から「2」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「看護学セミナー」の専任教員配置を「教授11」から「教授9」、「准教授9」から「准教授10」、「講師5」から「講師4」、「助教6」から「助教7」に変更
- ・コロナ感染拡大防止のため、「礼法」の配当年次を「1前」から「1後」に変更
- ・兼任教員退職により、「ホスピタリティ」の兼任・兼任教員配置を「1」から「0」に変更
- ・専任教員のAC資格審査の結果、「看護基本技術Ⅰ（生活の援助技術）」の専任教員配置を「教授0」から「教授1」に変更
- ・専任教員のAC資格審査の結果、「看護基本技術Ⅱ（フィジカルアセスメント）」の専任教員配置を、「教授0」から「教授1」に変更
- ・専任教員のAC資格審査の結果、「看護基本技術Ⅲ（臨床看護技術）」の専任教員配置を「教授0」から「教授1」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員配置を「准教授9」から「准教授10」、「講師4」から「講師3」、「助教6」から「助教7」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任及びAC資格審査の結果により、「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員配置を「教授5」から「教授3」、「准教授9」から「准教授10」、「講師3」から「講師2」、「助教5」から「助教7」に変更
- ・専任教員の就任辞退により、「成人看護学概論」の専任教員配置を「教授2」から「教授1」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「成人看護援助論Ⅰ」の専任教員配置を「助教1」から「助教2」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「成人看護援助論Ⅱ」の専任教員配置を「教授1」から「教授0」、「助教1」から「助教2」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「成人看護援助論Ⅲ」の専任教員配置を「教授2」から「教授1」、「助教1」から「助教2」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）」の専任教員配置を「教授2」から「教授1」、「助教2」から「助教3」に変更
- ・専任教員の就任辞退により、「成人看護学実習Ⅱ（慢性期）」の専任教員配置を「教授2」から「教授1」に変更
- ・専任教員の就任辞退により、「小児看護援助論Ⅰ」の専任教員配置を「講師1」から「講師0」に変更
- ・専任教員の就任辞退により、「小児看護援助論Ⅱ」の専任教員配置を「講師1」から「講師0」に変更
- ・専任教員の就任辞退により、「小児看護学実習」の専任教員配置を「講師1」から「講師0」に変更
- ・専任教員の身分変更（専任から兼任）及び専任教員就任により「在宅看護学概論」の専任教員配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。兼任・兼任教員配置を「0」から「1」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「在宅看護援助論Ⅰ」の専任教員配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「在宅看護援助論Ⅱ」の専任教員配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「看護治療技術演習」の専任教員配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「在宅看護学実習」の専任教員配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「公衆衛生看護展開論Ⅰ（地域）」の専任教員配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「公衆衛生看護展開論Ⅱ（学校保健）」の専任教員配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「公衆衛生看護展開論Ⅲ（産業保健）」の専任教員配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「公衆衛生看護展開論Ⅳ（地域診断）」の専任教員配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「公衆衛生看護学実習Ⅰ（市町村）」の専任教員配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健所）」の専任教員配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業・学校保健）」の専任教員配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・専任教員の就任辞退により、「看護マネジメント」の専任教員配置を「講師1」から「講師0」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任及び専任教員のAC資格審査の結果により、「看護研究Ⅱ」の専任教員配置を「教授12」から「教授10」、「准教授9」から「准教授10」、「助教3」から「助教5」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「看護研究Ⅲ」の専任教員配置を「教授12」から「教授10」、「准教授9」から「准教授10」、「講師5」から「講師4」、「助教3」から「助教4」に変更
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「看護の統合実践演習」の専任教員配置を「教授11」から「教授9」、「准教授9」から「准教授10」、「講師5」から「講師4」、「助教6」から「助教7」に変更

【令和3年度】

- ・兼任教員の担当科目調整により、「日本の文学」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
 - ・兼任教員の担当科目調整により、「表現と創作」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
 - ・兼任教員の役職者コマ数減により、「20世紀の日本」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
 - ・兼任教員の役職者コマ数減により、「家族と社会」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
 - ・兼任教員の担当科目調整により、「ファッションの文化」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
 - ・兼任教員の退職により、「こどもと育児」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
 - ・兼任教員退職の後任兼任教員着任により、「社会貢献と実践」の教員配置を「兼0」から「兼2」に変更。
 - ・コロナ感染防止のため期区分変更したがオンデマンド切り替え「現代の教育」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
 - ・兼任教員の担当科目調整により、「女性と美容」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
 - ・兼任教員の担当科目調整により、「フィットネス実習」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
 - ・兼任教員の担当科目調整により、「海外語学研修」の教員配置を「兼1」から「兼3」に変更。
-
- ・令和2年度コロナ感染拡大防止のため、「礼法」の配当年次を「1前」から「1後」に変更したが、「1前」に戻した。
 - ・兼任教員就任により、「ホスピタリティ」の兼任・兼任教員配置を「0」から「1」に変更。
 - ・時間割調整により、「薬理学」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
 - ・専任教員の退職により、「成人看護援助論Ⅰ」の専任教員配置を「助教2」から「助教1」に変更
 - ・専任教員の退職及びA C資格審査の結果により「成人看護援助論Ⅱ」の専任教員配置を「教授0」から「教授1」、「助教2」から「助教1」に変更
 - ・専任教員の退職により、「成人看護援助論Ⅲ」の専任教員配置を「助教2」から「助教1」に変更
 - ・専任教員の退職により、「成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）」の専任教員配置を「助教3」から「助教1」に変更
 - ・専任教員の退職により、「成人看護学実習Ⅱ（慢性期）」の専任教員配置を「助教3」から「助教1」に変更
 - ・時間割調整により、「老年看護援助論Ⅰ」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
 - ・専任教員の退職により、「老年看護学実習Ⅰ（施設）」の専任教員配置を「助教4」から「助教3」に変更
 - ・専任教員の退職により、「老年看護学実習Ⅱ（病院）」の専任教員配置を「助教2」から「助教1」に変更
 - ・専任教員の就任により、「老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター）」の専任教員配置を「助教2」から「助教3」に変更
 - ・専任教員の就任により、「小児看護援助論Ⅰ」の専任教員配置を「助教1」に変更
 - ・専任教員の就任により、「小児看護援助論Ⅱ」の専任教員配置を「助教1」に変更
 - ・専任教員の就任により、「小児看護学実習」の専任教員配置を「助教1」に変更
 - ・専任教員の就任により、「母性看護援助論Ⅰ」の専任教員配置を「助教1」に変更
 - ・専任教員の就任により、「母性看護援助論Ⅱ」の専任教員配置を「助教1」に変更
 - ・兼任教員退職により、「在宅看護学概論」の兼任・兼任教員配置を「1」から「0」に変更。
 - ・専任教員の就任により、「在宅看護援助論Ⅱ」の専任教員配置を「助教1」に変更
 - ・専任教員の就任により、「看護治療技術演習」の専任教員配置を「助教1」に変更
 - ・専任教員の就任により、「在宅看護学実習」の専任教員配置を「助教0」から「助教1」に変更
 - ・専任教員の就任により、「災害と地域看護活動」の専任教員配置を「助教1」、兼任・兼任教員配置を「2」から「1」に変更。
-
- ・兼任教員の就任辞退及び兼任教員の就任により、「国際理解と看護」の兼任・兼任教員配置を「3」から「1」に変更。時間割調整により配当年次を「4後」から「4通」に変更。
 - ・専任教員の退職及び専任教員就任により「看護研究Ⅱ」の専任教員配置を「助教5」から「助教7」に変更
 - ・専任教員の退職及び専任教員就任により「看護研究Ⅲ」の専任教員配置を「助教4」から「助教7」に変更
 - ・実習期間は後期であるが、開講期に縛られずに事前指導を実施するため「成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）」「成人看護学実習Ⅱ（慢性期）」「老年看護学実習Ⅱ（病院）」「老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター）」「小児看護学実習」「母性看護学実習」「精神看護学実習」の配当年次を「3後」から「3通」に変更。
 - ・実習期間は前期であるが、開講期に縛られずに事後指導を実施するため、「老年看護学実習Ⅰ（施設）」の配当年次を「2前」から「2通」に変更。
 - ・実習期間は前期であるが、開講期に縛られずに事後指導を実施するため、「在宅看護学実習」の配当年次を「4前」から「4通」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
75 科目	60 科目	0 科目	135 科目	75 科目 []	61 科目 [1]	0 科目 []	136 科目 [1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	海外文化研修	2	1後	一般	選択	コロナ感染拡大防止のため。 代替措置としては、海外渡航の科目であるためコロナ感染の状況をみながら来年度の開講準備を進める。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講となった科目は共通総合科目のため1～4年生まで履修が可能となっており、次年度以降に開講し履修の機会を提供する。学生に対しては、教育支援システムや連絡システムを使い時間割修正を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{1}{135} = \boxed{0.74} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	和洋国府台女子中学・高等学校(必要面積18,193㎡)と共用(収容定員:680人、高等学校1,070人)			
	校舎敷地	9,938 ㎡	34,404 ㎡	4,711 ㎡	49,053 ㎡				
	運動場用地	80,548 ㎡	11,509 ㎡	5,170 ㎡	97,227 ㎡				
	小 計	90,486 ㎡	45,913 ㎡	9,881 ㎡	146,280 ㎡				
	そ の 他	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡				
合 計	90,486 ㎡	45,913 ㎡	9,881 ㎡	146,280 ㎡					
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	和洋国府台女子中学・高等学校(必要面積18,193㎡)と共用(収容定員:680人、高等学校1,070人)				
	50,544㎡ (50,544㎡)	2,757㎡ (2,757㎡)	1,564㎡ (1,564㎡)	54,865㎡ (54,865㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	43 室	27 室	36 室	6 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	看護学部 看護学科		32 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	看護学部就任教員で数回にわたり検討した結果、修正した(30) 図書は年度計画に則り1,680冊を購入したことによる。視聴覚資料については学生の教育の質向上を鑑みて更に購入したことによる(元) 図書・視聴覚資料は、新規購入をしたことによる(2) 学術雑誌は再精査の結果、修正した(2) 図書・視聴覚資料は、新規購入をしたことによる(3)	
	看護学部	4806 4714 [473] 4615 [470] 4601 [468] 4500 [450] (4806 [473]) (4714 [473]) (4615 [470]) (2931 [298]) (4500 [450])	49 [16] 46 [6] 40 [10] (46 [16]) (46 [6]) (0 [0]) (40 [10])	6 [6] (6 [6])	399 395 381 378 350 (399) (395) (381) (186) (350)	0 (0)	0 (0)		
	計	4806 4714 [473] 4615 [470] 4601 [468] 4500 [450] (4806 [473]) (4714 [473]) (4615 [470]) (2931 [298]) (4500 [450])	49 [16] 46 [6] 40 [10] (46 [16]) (46 [6]) (0 [0]) (40 [10])	6 [6] (6 [6])	399 395 381 378 350 (399) (395) (381) (186) (350)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 看護学部の設置と学生の利用を鑑み閲覧座席数を増やすとともに書架を増設した(30)			
	3,673 ㎡ 3,223 ㎡	400 267		321,224 273,925					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	6,005 ㎡	-							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子ジャーナル、データベース購入費を含む 図書及び設備購入費については再精査の結果、修正した(30) 研究費の算出方法変更(30) 共同研究費等:大学全体(2) 共同研究費等:大学全体(3)
		教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	24,976千円 24,506千円	16,667千円 15,955千円	41,643千円 30,255千円	
	共同研究費等	37,715千円 24,903千円 -2,270千円 -980千円	37,715千円 24,903千円 -2,270千円 -980千円	設備購入費	194,770千円 210,920千円	0千円	0千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	30年度の金額に差異あり。1年次より増しと諸会費の金額が変更の修正した(1) 納付金には、セミナー研修費・諸会費の納入があった為変更した(30)	
		1,898千円 1,902千円 1,850千円	1,621千円 1,652千円 1,600千円	1,621千円 1,652千円 1,600千円	1,621千円 1,652千円 1,600千円	-千円	-千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、事業収入、雑収入 他							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	和洋女子大学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文学部	4	240	-	1210	-	1.08	1.00	-	平成20	-	
国際学科	4	-	-	-	学士(文学)(教養)	-	-	-	平成26	千葉県市川市国府台2-3-1	令和2年学生募集停止
日本文学文化学科	4	110	-	440	学士(文学)	1.09	1.07	-	平成20	千葉県市川市国府台2-3-1	
心理学科	4	60	-	250	学士(心理学)	1.18	1.15	-	平成26	同上	
こども発達学科	4	70	-	280	学士(教育学)	0.93	0.77	-	平成26	同上	
国際学部	4	120	-	240	-	1.00	0.91	-	令和2	-	
英語コミュニケーション学科	4	60	-	120	学士(英語コミュニケーション学)	0.97	0.86	-	令和2	同上	
国際学科	4	60	-	120	学士(国際学)	1.04	0.96	-	令和2	同上	
家政学部	4	290	-	1150	-	0.98	0.82	-	平成20	-	
服飾造形学科	4	60	-	260	学士(家政学)	1.07	0.91	-	平成20	同上	
健康栄養学科	4	120	-	480	学士(家政学)	1.05	0.90	-	平成20	同上	
家政福祉学科	4	110	-	410	学士(家政学)	0.87	0.68	-	平成20	同上	
看護学部	4	100	-	400	-	1.04	0.91	-	平成30	-	
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.04	0.91	-	平成30	千葉県市川市国府台2-1-18	
大学全体	4	750	-	3000	-	1.03	0.90	-	-	-	
大学の名称	和洋女子大学大学院						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
人文科学専攻科	2	10	-	20	-	0.25	0.30	-	平成14	-	
英語文学専攻修士課程	2	5	-	10	修士(文学)	0.00	0.00	-	平成14	千葉県市川市国府台2-3-1	
日本文学専攻修士課程	2	5	-	10	修士(文学)	0.50	0.60	-	平成14	同上	
総合生活専攻科	-	11	-	25	-	0.63	0.45	-	平成14	-	
総合生活専攻博士前期課程	2	8	-	16	修士(家政学)	0.50	0.00	-	平成14	同上	
総合生活専攻博士後期課程	3	3	-	9	博士(家政学または学術)	1.22	1.66	-	平成21	同上	
大学院全体	-	21	-	45	-	0.40	0.38	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名									
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
											天谷 尚子			<令和2年9月>
											基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ(施設) 老年看護学実習Ⅲ(包括支援センター) 在宅看護援助論Ⅱ 看護治療技術演習 在宅看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習	専 助教		
											永田 美和			<令和3年4月>
											基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 母性看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅱ 母性看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習	専 助教		
											渡邊 久美			<令和2年9月>
											基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護援助論Ⅰ 小児看護援助論Ⅱ 小児看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習	専 助教		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名												
		<就任(予定)年月>												
		担当授業科目名												
兼任	教授	鬘谷 要 <平成30年4月>												
		化学 色彩の科学 数理解と発想			化学 色彩の科学 数理解と発想			パソコンの基礎と応用 化学 色彩の科学 数理解と発想			パソコンの基礎と応用 化学 色彩の科学 数理解と発想			パソコンの基礎と応用 化学 色彩の科学 数理解と発想
兼任	教授	金丸 裕志 <平成30年4月>												
		20世紀の日本												
兼任	教授	金子 健彦 <平成30年4月>												
		女性と美容 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 病理学総論 公衆衛生学 チーム医療												
兼任	教授	河内山 有佐 <平成30年4月>	兼任	教授	河内山 有佐 <平成30年4月>									
		海外語学研修 英語a-I 英語a-II 英語b-I 英語b-II			海外語学研修									
兼任	教授	小林 勉 <平成30年4月>												
		住まいとデザイン												
兼任	教授	駒見 和夫 <平成30年4月>												
		キャリアデザイン 遺跡に学ぶ												
兼任	教授	櫻井 洋一 <平成30年4月>												
		生命と医療の倫理												
兼任	教授	迫村 純男 <平成30年4月>												
		英語a-I 英語a-II 英語b-I 英語b-II			英語a-I 英語a-II 英語b-I 英語b-II			英語a-I 英語a-II 英語b-I 英語b-II			英語b-I 英語b-II			
兼任	教授	佐藤 宏子 <平成30年4月>							兼任	教授	佐藤 宏子 <令和2年4月>	兼任	教授	佐藤 宏子 <令和2年4月>
		家族とジェンダー									家族とジェンダー			家族とジェンダー
兼任	教授	島田 由紀子 <平成30年4月>												
		現代の教育												
兼任	教授	嶋根 歌子 <平成30年4月>	兼任	教授	嶋根 歌子 <平成30年4月>	兼任	教授	嶋根 歌子 <平成30年4月>						
		服装の科学 看護の知識			服装の科学 看護の知識			服装の科学 看護の知識						
兼任	教授	庄司 妃佐 <平成30年4月>	兼任	教授	庄司 妃佐 <平成30年4月>	兼任	教授	庄司 妃佐 <平成30年4月>						
		加齢と高齢者の科学			加齢と高齢者の科学			加齢と高齢者の科学						
兼任	教授	高久田 佳津子 <平成30年4月>	兼任	教授	高久田 佳津子 <平成30年4月>									
		海外語学研修			海外語学研修									
兼任	教授	中村 威久水 <平成30年4月>												
		日本の美術 西洋の美術												
兼任	教授	菱田 隆昭 <平成30年4月>												
		現代の教育												
兼任	教授	日向 清人 <平成30年4月>	兼任	教授	日向 清人 <平成30年4月>	兼任	教授	日向 清人 <平成30年4月>						
		英語a-I 英語a-II 英語b-I 英語b-II			英語a-I 英語a-II 英語b-I 英語b-II			英語a-I 英語a-II 英語b-I 英語b-II						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	古畑 公 <平成30年4月>	兼任	教授	古畑 公 <平成30年4月>	兼任	教授	古畑 公 <平成30年4月>	兼任	教授	古畑 公 <平成30年4月>	兼任	教授	古畑 公 <平成30年4月>
		健康と食生活			健康と食生活			健康と食生活			健康と食生活			健康と食生活
兼任	教授	湊 久美子 <平成30年4月>	兼任	教授	湊 久美子 <平成30年4月>	兼任	教授	湊 久美子 <平成30年4月>	兼任	教授	湊 久美子 <平成30年4月>	兼任	教授	湊 久美子 <平成30年4月>
		社会貢献と実践 健康の科学 フィットネス実習			社会貢献と実践 健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習			社会貢献と実践 健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習			社会貢献と実践 健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習			社会貢献と実践 健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習
兼任	教授	山下 景秋 <平成30年4月>	兼任	教授	山下 景秋 <平成30年4月>	兼任	教授	山下 景秋 <平成30年4月>	兼任	教授	山下 景秋 <平成30年4月>			
		経済の仕組み			経済の仕組み			経済の仕組み			経済の仕組み			
兼任	教授	李明伍 <平成30年4月>	兼任	教授	李明伍 <平成30年4月>	兼任	教授	里正 明伍 <平成30年4月>	兼任	教授	里正 明伍 <平成30年4月>	兼任	教授	里正 明伍 <平成30年4月>
		家族と社会 社会の仕組み			家族と社会			家族と社会			家族と社会			家族と社会
兼任	准教授	池田 幸恭 <平成30年4月>												
		心理の科学												
兼任	准教授	大神 優子 <平成30年4月>												
		人間の発達												
兼任	准教授	岡本 秀明 <平成30年4月>	兼任	准教授	岡本 秀明 <平成30年4月>	兼任	准教授	岡本 秀明 <平成30年4月>	兼任	准教授	岡本 秀明 <平成30年4月>	兼任	准教授	岡本 秀明 <平成30年4月>
		家族と福祉			家族と福祉			家族と福祉			家族と福祉			家族と福祉
兼任	准教授	小沢 哲史 <平成30年4月>	兼任	准教授	小沢 哲史 <平成30年4月>	兼任	教授	小沢 哲史 <平成30年4月>	兼任	教授	小沢 哲史 <平成30年4月>	兼任	教授	小沢 哲史 <平成30年4月>
		人間の発達			人間の発達			人間の発達			人間の発達			人間の発達
兼任	准教授	黒田 誠 <平成30年4月>	兼任	准教授	黒田 誠 <平成30年4月>	兼任	准教授	黒田 誠 <平成30年4月>	兼任	准教授	黒田 誠 <平成30年4月>	兼任	准教授	黒田 誠 <平成30年4月>
		こんにちの文化			こんにちの文化			こんにちの文化			こんにちの文化			こんにちの文化
兼任	准教授	駒 久美子 <平成30年4月>	兼任	准教授	駒 久美子 <平成30年4月>									
		現代の教育			現代の教育									
兼任	准教授	佐藤 淳一 <平成30年4月>	兼任	准教授	佐藤 淳一 <平成30年4月>	兼任	准教授	佐藤 淳一 <平成30年4月>	兼任	准教授	佐藤 淳一 <平成30年4月>			
		表現と創作			表現と創作			ベーシックラーニング 表現と創作			ベーシックラーニング 表現と創作			
兼任	准教授	佐藤 まゆみ <平成30年4月>	兼任	准教授	佐藤 まゆみ <平成30年4月>									
		社会福祉の展望 社会貢献と実践			社会福祉の展望 社会貢献と実践									
兼任	准教授	秦泉寺 友紀 <平成30年4月>	兼任	准教授	秦泉寺 友紀 <平成30年4月>	兼任	准教授	秦泉寺 友紀 <平成30年4月>	兼任	教授	秦泉寺 友紀 <平成30年4月>	兼任	教授	秦泉寺 友紀 <平成30年4月>
		社会の仕組み			社会の仕組み			社会の仕組み			社会の仕組み			社会の仕組み
兼任	准教授	杉浦 功一 <平成30年4月>	兼任	准教授	杉浦 功一 <平成30年4月>	兼任	教授	杉浦 功一 <平成30年4月>	兼任	教授	杉浦 功一 <平成30年4月>	兼任	教授	杉浦 功一 <平成30年4月>
		国際関係入門			国際関係入門			国際関係入門			国際関係入門			国際関係入門
兼任	准教授	杉浦 令子 <令和2年4月>	兼任	准教授	杉浦 令子 <令和2年4月>	兼任	准教授	杉浦 令子 <令和2年4月>	兼任	准教授	杉浦 令子 <令和2年4月>	兼任	教授	杉浦 令子 <令和2年4月>
		チーム医療			チーム医療			チーム医療			チーム医療			チーム医療
兼任	准教授	多賀 昌樹 <平成30年4月>	兼任	准教授	多賀 昌樹 <平成30年4月>	兼任	准教授	多賀 昌樹 <平成30年4月>	兼任	准教授	多賀 昌樹 <平成30年4月>	兼任	准教授	多賀 昌樹 <平成30年4月>
		健康と食生活			健康と食生活			健康と食生活			健康と食生活			健康と食生活
兼任	准教授	高木 憲司 <令和2年4月>	兼任	准教授	高木 憲司 <令和2年4月>	兼任	准教授	高木 憲司 <令和2年4月>	兼任	准教授	高木 憲司 <令和2年4月>	兼任	准教授	高木 憲司 <令和2年4月>
		社会保障論			社会保障論			社会保障論			社会保障論			社会保障論
兼任	准教授	寺島 瞳 <平成30年4月>	兼任	准教授	寺島 瞳 <平成30年4月>	兼任	准教授	寺島 瞳 <平成30年4月>	兼任	准教授	寺島 瞳 <平成30年4月>			
		心理の科学			心理の科学			心理の科学			心理の科学			心理の科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	准教授	延澤 直樹 <平成30年4月>	兼任	准教授	延澤 直樹 <平成30年4月>										
		ファッションの文化			ファッションの文化										
兼任	准教授	藤丸 麻紀 <平成30年4月>	兼任	准教授	藤丸 麻紀 <平成30年4月>	兼任	准教授	藤丸 麻紀 <平成30年4月>							
		経済の仕組み			経済の仕組み			経済の仕組み							
兼任	准教授	山本 高美 <平成30年4月>	兼任	准教授	山本 高美 <平成30年4月>	兼任	准教授	山本 高美 <平成30年4月>	兼任	准教授	山本 高美 <平成30年4月>	兼任	准教授	山本 高美 <平成30年4月>	
		パソコンの基礎と応用 服装の科学			パソコンの基礎と応用 服装の科学			パソコンの基礎と応用 服装の科学			パソコンの基礎と応用 服装の科学			パソコンの基礎と応用 服装の科学	
兼任	講師	Jennifer R Morgan <平成30年4月>	兼任	講師	Jennifer R Morgan <平成30年4月>										
		海外語学研修			海外語学研修										
兼任	助教	伊瀬 玲奈 <平成30年4月>													
		こどもと育児													
兼任	助教	梅山 聡 <平成30年4月>	兼任	助教	梅山 聡 <平成30年4月>	兼任	助教	梅山 聡 <平成30年4月>	兼任	准教授	梅山 聡 <平成30年4月>	兼任	准教授	梅山 聡 <平成30年4月>	
		日本の文学			日本の文学			日本の文学			日本の文学			日本の文学	
兼任	助教	織田 奈緒子 <平成30年4月>	兼任	助教	織田 奈緒子 <平成30年4月>	兼任	助教	織田 奈緒子 <平成30年4月>	兼任	助教	織田 奈緒子 <平成30年4月>	兼任	助教	織田 奈緒子 <平成30年4月>	
		ファッションの文化			ファッションの文化			ファッションの文化			ファッションの文化			ファッションの文化	
兼任	助教	上村 明 <平成30年4月>	兼任	助教	上村 明 <平成30年4月>	兼任	助教	上村 明 <平成30年4月>	兼任	助教	上村 明 <平成30年4月>	兼任	准教授	上村 明 <平成30年4月>	
		健康の科学 スポーツ実習			健康の科学 スポーツ実習			健康の科学 スポーツ実習			健康の科学 スポーツ実習			健康の科学 スポーツ実習	
兼任	助教	木村 尚志 <平成30年4月>	兼任	助教	木村 尚志 <平成30年4月>	兼任	准教授	木村 尚志 <平成30年4月>	兼任	准教授	木村 尚志 <平成30年4月>	兼任	准教授	木村 尚志 <平成30年4月>	
		日本の文学 表現と創作 海外文化研修			日本の文学 表現と創作			日本の文学 表現と創作			日本の文学 表現と創作			日本の文学	
兼任	助教	永澤 貴昭 <平成30年4月>	兼任	助教	永澤 貴昭 <平成30年4月>	兼任	助教	永澤 貴昭 <平成30年4月>	兼任	助教	永澤 貴昭 <平成30年4月>	兼任	助教	永澤 貴昭 <平成30年4月>	
		健康の科学			健康の科学			健康の科学			健康の科学			健康の科学	
兼任	助教	星野 文子 <平成30年4月>	兼任	助教	星野 文子 <平成30年4月>	兼任	助教	星野 文子 <平成30年4月>	兼任	准教授	星野 文子 <平成30年4月>	兼任	准教授	星野 文子 <平成30年4月>	
		外国の文学 ジェンダーと文学			外国の文学 ジェンダーと文学			外国の文学 ジェンダーと文学			外国の文学 ジェンダーと文学			外国の文学 ジェンダーと文学	
			兼任	教授	鈴木 葉子 <平成30年4月>	兼任	教授	鈴木 葉子 <平成30年4月>	兼任	教授	鈴木 葉子 <平成30年4月>	兼任	教授	加藤 文代 <令和3年4月>	
					生命と医療の倫理			生命と医療の倫理			生命と医療の倫理			生命と医療の倫理	
			兼任	教授	原子 はるみ <平成30年4月>	兼任	教授	原子 はるみ <平成30年4月>							
					こどもと育児			こどもと育児							
			兼任	准教授	金井 智恵子 <平成30年4月>	兼任	准教授	金井 智恵子 <平成30年4月>	兼任	准教授	金井 智恵子 <平成30年4月>	兼任	准教授	金井 智恵子 <平成30年4月>	
					人間の発達			人間の発達			人間の発達			人間の発達	
			兼任	准教授	清水 冬樹 <平成31年4月>	兼任	准教授	清水 冬樹 <平成31年4月>							
					社会福祉の展望 社会貢献と実践			社会福祉の展望 社会貢献と実践							

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								二宮 祐子 <令和2年4月>			二宮 祐子 <令和2年4月>			二宮 祐子 <令和2年4月>
								社会福祉の展望			社会福祉の展望			社会福祉の展望
											深澤 晴美 <令和3年4月>			深澤 晴美 <令和3年4月>
											ベーシックラーニング 日本の文学 表現と創作			ベーシックラーニング 日本の文学 表現と創作
								森本 美紀 <令和2年4月>						
								ファッションの文化						
								弓削田 綾乃 <平成31年4月>			弓削田 綾乃 <平成31年4月>			弓削田 綾乃 <平成31年4月>
								スポーツ実習			スポーツ実習			スポーツ実習
								ダラ・フランシス・ラングレイ <平成31年4月>			ダラ・フランシス・ラングレイ <平成31年4月>			ダラ・フランシス・ラングレイ <平成31年4月>
								海外語学研修			海外語学研修			海外語学研修
								ベンジャミン・オーラ <平成31年4月>						
								海外語学研修						
								内田 翔大 <平成31年4月>			内田 翔大 <令和3年4月>			内田 翔大 <令和3年4月>
								海外語学研修			海外語学研修			海外語学研修
								大塚 千紗子 <平成31年4月>			大塚 千紗子 <平成31年4月>			大塚 千紗子 <平成31年4月>
								ベーシックラーニング			ベーシックラーニング			ベーシックラーニング
											小野 真嗣 <令和2年4月>			小野 真嗣 <令和2年4月>
											文化遺産に学ぶ			文化遺産に学ぶ
								甲斐 万里子 <平成31年4月>						
								現代の教育						
											桑原 里実 <令和2年4月>			桑原 里実 <令和2年4月>
											看護の知識			看護の知識
														田中 佑樹 <令和3年4月>
														心理の科学
														辻 りりこ <令和3年4月>
														英語b-1 英語b-11
														奈良 玲子 <令和3年4月>
														キャリアデザイン 社会貢献と実践
														山本 貴恵 <令和3年4月>
														海外語学研修
														吉山 さやか <令和3年4月>
														手書き文字の世界
兼任	講師	青柳 信嘉 <平成31年4月>	兼任	講師	青柳 信嘉 <平成31年4月>	兼任	講師	青柳 信嘉 <平成31年4月>	兼任	講師	青柳 信嘉 <平成31年4月>	兼任	講師	青柳 信嘉 <平成31年4月>
		病態と治療Ⅱ(外科系)			病態と治療Ⅱ(外科系)			病態と治療Ⅱ(外科系)			病態と治療Ⅱ(外科系)			病態と治療Ⅱ(外科系)
兼任	講師	浅川 孝司 <令和2年4月>	兼任	講師	浅川 孝司 <令和2年4月>	兼任	講師	浅川 孝司 <令和2年4月>	兼任	講師	浅川 孝司 <令和2年4月>	兼任	講師	浅川 孝司 <令和2年4月>
		看護治療技術演習			看護治療技術演習			看護治療技術演習			看護治療技術演習			看護治療技術演習
兼任	講師	阿部 正二 <平成30年4月>	兼任	講師	阿部 正二 <平成30年4月>									
		看護の知識			看護の知識									
兼任	講師	石川 圭一 <平成30年4月>				兼任	講師	石川 圭一 <平成31年4月>						漢字・かな文字の変遷
		手書き文字の世界 漢字・かな文字の変遷												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	市野 由香 <令和2年4月>
		チーム医療 看護治療技術演習
兼任	講師	植田 幹男 <平成30年4月>
		生化学
兼任	講師	遠藤 英子 <平成31年4月>
		感染看護学
兼任	講師	大石 時子 <令和3年4月>
		国際理解と看護
兼任	講師	小田 清一 <令和2年4月>
		看護と関係法規 保健医療福祉行政論
兼任	講師	鹿倉 杜史 <平成30年4月>
		手書き文字の世界
兼任	講師	加藤 将貴 <平成30年4月>
		パソコンの基礎と応用
兼任	講師	河野 公子 <平成31年4月>
		栄養学
兼任	講師	日下部 貴 <平成31年4月>
		公衆衛生学 災害と地域看護活動
兼任	講師	河野 啓子 <平成31年4月>
		産業看護学
兼任	講師	香山(古金谷) 綾子 <平成30年4月>
		生命の科学
兼任	講師	小松 稚菜 <平成30年4月>
		礼法
兼任	講師	小室 敬幸 <平成30年4月>
		音楽の歴史 音楽の楽しみ
兼任	講師	近藤(佐藤) 麻理 <令和3年4月>
		国際理解と看護
兼任	講師	近藤 陽子 <平成31年4月>
		感染看護学
兼任	講師	佐藤 禮子 <平成30年4月>
		公衆衛生看護展開論Ⅰ(地域) ヘルスプロモーション がん看護学
兼任	講師	杉山 篤 <平成31年4月>
		薬理学
兼任	講師	高松 潔 <平成31年4月>
		病態と治療Ⅲ(産婦人科・小児疾患)
兼任	講師	田中 はる美 <平成30年4月>
		礼法
兼任	講師	戸田 里和 <平成30年4月>
		キャリアデザイン

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	市野 由香 <令和2年4月>
		チーム医療 看護治療技術演習
兼任	講師	植田 幹男 <平成30年4月>
		生化学
兼任	講師	遠藤 英子 <平成31年4月>
		感染看護学
兼任	講師	大石 時子 <令和3年4月>
		国際理解と看護
兼任	講師	小田 清一 <令和2年4月>
		看護と関係法規 保健医療福祉行政論
兼任	講師	加藤 将貴 <平成30年4月>
		パソコンの基礎と応用
兼任	講師	河野 公子 <平成31年4月>
		栄養学
兼任	講師	日下部 貴 <平成31年4月>
		公衆衛生学 災害と地域看護活動
兼任	講師	河野 啓子 <平成31年4月>
		産業看護学
兼任	講師	香山(古金谷) 綾子 <平成30年4月>
		生命の科学
兼任	講師	小室 敬幸 <平成30年4月>
		音楽の歴史 音楽の楽しみ
兼任	講師	近藤(佐藤) 麻理 <令和3年4月>
		国際理解と看護
兼任	講師	近藤 陽子 <平成31年4月>
		感染看護学
兼任	講師	佐藤 禮子 <平成30年4月>
		公衆衛生看護展開論Ⅰ(地域) ヘルスプロモーション がん看護学
兼任	講師	杉山 篤 <平成31年4月>
		薬理学
兼任	講師	高松 潔 <平成31年4月>
		病態と治療Ⅲ(産婦人科・小児疾患)
兼任	講師	田中 はる美 <平成30年4月>
		礼法
兼任	講師	戸田 里和 <平成30年4月>
		キャリアデザイン

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	市野 由香 <令和2年4月>
		チーム医療 看護治療技術演習
兼任	講師	植田 幹男 <平成30年4月>
		ベーシックラーニング 生化学
兼任	講師	遠藤 英子 <平成31年4月>
		感染看護学
兼任	講師	大石 時子 <令和3年4月>
		国際理解と看護
兼任	講師	小田 清一 <令和2年4月>
		看護と関係法規 保健医療福祉行政論
兼任	講師	加藤 将貴 <平成30年4月>
		パソコンの基礎と応用
兼任	講師	河野 公子 <平成31年4月>
		栄養学
兼任	講師	日下部 貴 <平成31年4月>
		公衆衛生学 災害と地域看護活動
兼任	講師	河野 啓子 <平成31年4月>
		産業看護学
兼任	講師	香山(古金谷) 綾子 <平成30年4月>
		生命の科学
兼任	講師	小室 敬幸 <平成30年4月>
		音楽の歴史 音楽の楽しみ
兼任	講師	近藤(佐藤) 麻理 <令和3年4月>
		国際理解と看護
兼任	講師	近藤 陽子 <平成31年4月>
		感染看護学
兼任	講師	佐藤 禮子 <平成30年4月>
		公衆衛生看護展開論Ⅰ(地域) ヘルスプロモーション がん看護学
兼任	講師	杉山 篤 <平成31年4月>
		薬理学
兼任	講師	高松 潔 <平成31年4月>
		病態と治療Ⅲ(産婦人科・小児疾患)
兼任	講師	田中 はる美 <平成30年4月>
		礼法
兼任	講師	戸田 里和 <平成30年4月>
		キャリアデザイン

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	市野 由香 <令和2年4月>
		チーム医療 看護治療技術演習
兼任	講師	植田 幹男 <平成30年4月>
		ベーシックラーニング 生化学
兼任	講師	遠藤 英子 <平成31年4月>
		感染看護学
兼任	講師	大石 時子 <令和3年4月>
		国際理解と看護
兼任	講師	小田 清一 <令和2年4月>
		看護と関係法規 保健医療福祉行政論
兼任	講師	加藤 将貴 <平成30年4月>
		パソコンの基礎と応用
兼任	講師	河野 公子 <平成31年4月>
		栄養学
兼任	講師	日下部 貴 <平成31年4月>
		公衆衛生学 災害と地域看護活動
兼任	講師	河野 啓子 <平成31年4月>
		産業看護学
兼任	講師	香山(古金谷) 綾子 <平成30年4月>
		生命の科学
兼任	講師	小室 敬幸 <平成30年4月>
		音楽の歴史 音楽の楽しみ
兼任	講師	近藤(佐藤) 麻理 <令和3年4月>
		国際理解と看護
兼任	講師	近藤 陽子 <平成31年4月>
		感染看護学
兼任	講師	佐藤 禮子 <平成30年4月>
		公衆衛生看護展開論Ⅰ(地域) ヘルスプロモーション がん看護学
兼任	講師	杉山 篤 <平成31年4月>
		薬理学
兼任	講師	高松 潔 <平成31年4月>
		病態と治療Ⅲ(産婦人科・小児疾患)
兼任	講師	田中 はる美 <平成30年4月>
		礼法
兼任	講師	戸田 里和 <平成30年4月>
		キャリアデザイン

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	市野 由香 <令和2年4月>
		チーム医療 看護治療技術演習
兼任	講師	植田 幹男 <平成30年4月>
		ベーシックラーニング 生化学
兼任	講師	遠藤 英子 <平成31年4月>
		感染看護学
兼任	講師	小田 清一 <令和2年4月>
		看護と関係法規 保健医療福祉行政論
兼任	講師	加藤 将貴 <平成30年4月>
		パソコンの基礎と応用 経済の仕組み
兼任	講師	河野 公子 <平成31年4月>
		栄養学
兼任	講師	日下部 貴 <平成31年4月>
		公衆衛生学
兼任	講師	河野 啓子 <平成31年4月>
		産業看護学
兼任	講師	香山(古金谷) 綾子 <平成30年4月>
		生命の科学
兼任	講師	小室 敬幸 <平成30年4月>
		音楽の歴史 音楽の楽しみ
兼任	講師	近藤(佐藤) 麻理 <令和3年4月>
		国際理解と看護
兼任	講師	近藤 陽子 <平成31年4月>
		感染看護学
兼任	講師	佐藤 禮子 <平成30年4月>
		公衆衛生看護展開論Ⅰ(地域) ヘルスプロモーション がん看護学
兼任	講師	杉山 篤 <平成31年4月>
		薬理学
兼任	講師	高松 潔 <平成31年4月>
		病態と治療Ⅲ(産婦人科・小児疾患)
兼任	講師	田中 はる美 <平成30年4月>
		礼法
兼任	講師	戸田 里和 <平成30年4月>
		キャリアデザイン

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	吉米地 則子 <令和3年4月>
		国際理解と看護
兼任	講師	豊川 智之 <令和2年4月>
		疫学 保健統計学
兼任	講師	早川(長嶋) 理穂 <平成30年4月>
		歴史学
兼任	講師	難波 秀行 <平成30年4月>
		スポーツ実習
兼任	講師	西塚 俊太 <平成30年4月>
		哲学への誘い
兼任	講師	野村 和孝 <平成31年4月>
		アサーティブコミュニケーション
兼任	講師	服部 裕美子 <平成30年4月>
		ホスピタリティ
兼任	講師	早川 達郎 <平成31年4月>
		病態と治療Ⅳ(精神・神経疾患)
兼任	講師	日野 勝吾 <平成30年4月>
		日本国憲法 憲法と人権
兼任	講師	柳内 秀勝 <平成30年4月>
		病態と治療Ⅰ(内科系)
兼任	講師	矢吹 智美 <令和2年4月>
		看護治療技術演習
兼任	講師	山崎 みつ江 <令和3年4月>
		災害と地域看護活動
兼任	講師	山本 直史 <令和2年4月>
		看護治療技術演習
兼任	講師	四ツ屋 真由美 <令和2年4月>
		看護治療技術演習
兼任	講師	綿引 浩一 <平成30年4月>
		漢字・かな文字の変遷
兼任	講師	宇佐美 かおる <平成30年4月>
		フィットネス実習
兼任	講師	及川 有紀子 <平成30年4月>
		礼法
兼任	講師	大森 美佐 <平成30年4月>
		家族とジェンダー
兼任	講師	加藤 はるか <平成30年4月>
		歴史学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	吉米地 則子 <令和3年4月>
		国際理解と看護
兼任	講師	豊川 智之 <令和2年4月>
		疫学 保健統計学
兼任	講師	難波 秀行 <平成30年4月>
		スポーツ実習
兼任	講師	西塚 俊太 <平成30年4月>
		哲学への誘い
兼任	講師	野村 和孝 <平成31年4月>
		アサーティブコミュニケーション
兼任	講師	服部 裕美子 <平成30年4月>
		ホスピタリティ
兼任	講師	早川 達郎 <平成31年4月>
		病態と治療Ⅳ(精神・神経疾患)
兼任	講師	日野 勝吾 <平成30年4月>
		日本国憲法 憲法と人権
兼任	講師	柳内 秀勝 <平成30年4月>
		病態と治療Ⅰ(内科系)
兼任	講師	矢吹 智美 <令和2年4月>
		看護治療技術演習
兼任	講師	山崎 みつ江 <令和3年4月>
		災害と地域看護活動
兼任	講師	山本 直史 <令和2年4月>
		看護治療技術演習
兼任	講師	四ツ屋 真由美 <令和2年4月>
		看護治療技術演習
兼任	講師	綿引 浩一 <平成30年4月>
		漢字・かな文字の変遷
兼任	講師	宇佐美 かおる <平成30年4月>
		フィットネス実習
兼任	講師	及川 有紀子 <平成30年4月>
		礼法
兼任	講師	大森 美佐 <平成30年4月>
		家族とジェンダー
兼任	講師	加藤 はるか <平成30年4月>
		歴史学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	吉米地 則子 <令和3年4月>
		国際理解と看護
兼任	講師	豊川 智之 <令和2年4月>
		疫学 保健統計学
兼任	講師	難波 秀行 <平成30年4月>
		スポーツ実習
兼任	講師	野村 和孝 <平成31年4月>
		アサーティブコミュニケーション
兼任	講師	服部 裕美子 <平成30年4月>
		ホスピタリティ
兼任	講師	早川 達郎 <平成31年4月>
		病態と治療Ⅳ(精神・神経疾患)
兼任	講師	日野 勝吾 <平成30年4月>
		日本国憲法 憲法と人権
兼任	講師	柳内 秀勝 <平成30年4月>
		病態と治療Ⅰ(内科系)
兼任	講師	矢吹 智美 <令和2年4月>
		看護治療技術演習
兼任	講師	山崎 みつ江 <令和3年4月>
		災害と地域看護活動
兼任	講師	山本 直史 <令和2年4月>
		看護治療技術演習
兼任	講師	四ツ屋 真由美 <令和2年4月>
		看護治療技術演習
兼任	講師	宇佐美 かおる <平成30年4月>
		フィットネス実習
兼任	講師	及川 有紀子 <平成30年4月>
		礼法
兼任	講師	大森 美佐 <平成30年4月>
		家族とジェンダー
兼任	講師	加藤 はるか <令和2年4月>
		歴史学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	吉米地 則子 <令和3年4月>
		国際理解と看護
兼任	講師	豊川 智之 <令和2年4月>
		疫学 保健統計学
兼任	講師	難波 秀行 <平成30年4月>
		スポーツ実習
兼任	講師	早川 達郎 <平成31年4月>
		病態と治療Ⅳ(精神・神経疾患)
兼任	講師	日野 勝吾 <平成30年4月>
		日本国憲法 憲法と人権
兼任	講師	柳内 秀勝 <平成30年4月>
		病態と治療Ⅰ(内科系)
兼任	講師	矢吹 智美 <令和2年4月>
		看護治療技術演習
兼任	講師	山崎 みつ江 <令和3年4月>
		災害と地域看護活動
兼任	講師	山本 直史 <令和2年4月>
		看護治療技術演習
兼任	講師	四ツ屋 真由美 <令和2年4月>
		看護治療技術演習
兼任	教授	原子 はるみ <平成30年4月>
		こどもと育児
兼任	講師	宇佐美 かおる <平成30年4月>
		フィットネス実習
兼任	講師	及川 有紀子 <平成30年4月>
		礼法
兼任	講師	大森 美佐 <平成30年4月>
		家族とジェンダー
兼任	講師	加藤 はるか <令和2年4月>
		歴史学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	豊川 智之 <令和2年4月>
		疫学 保健統計学
兼任	講師	難波 秀行 <平成30年4月>
		スポーツ実習
兼任	講師	早川 達郎 <平成31年4月>
		病態と治療Ⅳ(精神・神経疾患)
兼任	講師	日野 勝吾 <平成30年4月>
		日本国憲法 憲法と人権
兼任	講師	柳内 秀勝 <平成30年4月>
		病態と治療Ⅰ(内科系)
兼任	講師	矢吹 智美 <令和2年4月>
		看護治療技術演習
兼任	講師	宇佐美 かおる <平成30年4月>
		フィットネス実習
兼任	講師	及川 有紀子 <平成30年4月>
		礼法
兼任	講師	大森 美佐 <平成30年4月>
		家族とジェンダー
兼任	講師	加藤 はるか <令和2年4月>
		歴史学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	補引 浩一 <平成30年4月>						
					漢字・かな文字の変遷						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の過年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・篠原 百合子教授 就任辞退。後任未定であるが、平成31年4月から専任教員採用予定で公募中。
- ・立川 茂樹准教授 就任辞退。後任未定であるが、平成31年4月から専任教員採用予定で公募中。
- ・小野坂 益成講師 就任辞退。後任未定であるが、平成31年4月から専任教員採用予定で公募中。
- ・河内山有佐兼担教授の担当科目調整のため、「英語a-I」「英語a-II」「英語b-I」「英語b-II」をドイチェマン・サラ・ミヨシ兼任講師に変更。
- ・駒見和夫兼担教授就任辞退により、「キャリアデザイン」を奈良玲子兼任講師に変更、「遺跡に学ぶ」を平成30年度は休講。
- ・櫻井洋一兼担教授就任辞退により、鈴木葉子兼担教授に変更。
- ・佐藤宏子兼担教授の役職者コマ数減のため、大森美佐兼任講師に変更。
- ・島田由紀子兼担教授就任辞退により、中村光絵兼担教授に変更。
- ・湊久美子兼担教授の担当科目調整のため、「スポーツ実習」を追加、「フィットネス実習」を1クラス宇佐美かおる兼任講師に変更
- ・李明伍兼担教授の役職者コマ数減のため、「社会の仕組み」を平成30年度は休講。
- ・池田幸恭兼担教授の役職者コマ数減のため、酒井博美兼任講師に変更。
- ・大野優子兼担教授の役職者コマ数減のため、金井智恵子兼担教授に変更。
- ・伊瀬玲奈兼担教授の担当科目調整のため、原子はるみ兼担教授に変更。
- ・木村尚志兼担教授の育児休業取得のため、「海外文化研修」を平成30年度休講。別途クラス増加につき同科目を金範洙兼任講師が担当。
- ・石川圭一兼任講師の就任1年延期のため、「手書き文字の世界」を川嶋充兼任講師に変更、「漢字・かな文字の変遷」を平成30年度休講。
- ・鹿倉仕史兼任講師の就任1年延期のため、「手書き文字の世界」を川嶋充兼任講師に変更。
- ・小松雅菜兼任講師就任辞退により、及川有紀子兼任講師に変更。
- ・早川理穂兼任講師就任辞退により、加藤はるか兼任講師に変更。

【令和元年度】

- ・篠原百合子教授就任辞退により平成31年4月金子眞理子教授就任。平成30年7月教員審査済み。
- ・小野坂益成講師就任辞退により平成31年4月寛亮子講師就任。平成30年7月教員審査済み。
- ・日野徳子助教就任辞退により平成31年4月岡島(中西) 志野助教就任。平成31年1月教員審査済み。
- ・立川茂樹准教授 就任辞退。後任は4月AC教員審査中。
- ・嶋野ひさ子講師 就任辞退。後任未定であるが、令和2年4月から専任教員採用予定で公募中。
- ・河内山有佐兼担教授、担当科目調整のため、及び高久田佳津子兼担教授、Jennifer R Morgan兼担講師退職のため、「海外語学研修」を内田翔大兼担助教、ベンジャミン・オーラ兼担講師、ダラ・フランス・ラングレイ兼担講師に変更。
- ・李明伍兼担教授、氏名変更のため里正明伍へ変更。
- ・佐藤淳一兼担教授、新規開講科目開設に伴い「ベーシックラーニング」担当。
- ・大塚千紗子兼担助教、新規開講科目開設に伴い「ベーシックラーニング」担当。
- ・植田幹男兼任講師、新規開講科目開設に伴い「ベーシックラーニング」担当。
- ・駒久美子兼担教授、退職のため、「現代の教育」を甲斐万里子兼担助教に変更。
- ・佐藤まゆみ兼担教授、退職のため、「社会福祉の展望」、「社会貢献と実践」を清水冬樹兼担教授に変更。
- ・延澤直樹兼担教授、退職のため「ファッションの文化」織田奈緒子兼担助教が担当。
- ・綿引浩一兼任講師、辞退に伴い「漢字・かな文字の変遷」を石川圭一兼任講師、鹿倉仕史兼任講師に変更。
- ・加藤はるか兼任講師、辞退に伴い「歴史学」を中島幹人兼任講師に変更。
- ・西塚俊太兼任講師、辞退に伴い「哲学への誘い」を菅原令子兼任講師に変更。
- ・加藤紫謙兼担教授、平成30年度休講科目「遺跡に学ぶ」担当。なお、科目名変更のため平成31年度から「文化遺産に学ぶ」として開講。
- ・豊谷要兼担教授、クラス増に伴い「パソコンの基礎と応用」担当。
- ・弓削田綾乃兼担教授、クラス増に伴い「スポーツ実習」担当。
- ・佐藤深兼担講師、金子健彦兼担教授の役職者コマ数減のため「女性と美容」担当。
- ・クリストファー・トンプソン・リットン兼任講師、クラス増に伴い「英語a-I」「英語a-II」「英語b-I」「英語b-II」担当。

【令和2年度】

- ・立川茂樹准教授就任辞退により、令和2年4月1日吉水清助教就任。令和元年7月教員審査済み。
- ・嶋野ひさ子講師就任辞退により、令和2年4月1日永嶋仁美助教就任。令和元年11月教員審査済み。
- ・原田光子教授退職により、令和2年4月1日平山香代子准教授就任。令和2年1月教員審査済み。
- ・恩田清美講師退職。後任は5月AC教員審査提出予定。
- ・井上智栄子助教退職。後任は5月AC教員審査提出予定。
- ・渡邊知子教授退職により、後任未定であるが、令和3年4月から専任教員採用予定で公募中。
- ・竹内久美子教授、AC資格審査により、「看護基本技術Ⅰ(生活の援助技術)」「看護基本技術Ⅱ(フィジカルアセスメント)」「看護基本技術Ⅲ(臨床看護技術)」を追加。
- ・山下尚美助教、AC資格審査により「基礎看護学実習Ⅱ」追加。
- ・寛亮子講師、AC資格審査により「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」「精神看護援助Ⅰ」「看護研究Ⅱ」「看護研究Ⅲ」追加。
- ・原田光子教授、身分変更により「専任」「教授」から「兼任」「講師」へ変更。担当科目は「在宅看護学概論」のみに変更。
- ・迫村純男(兼任)教授、担当科目調整により、「英語a-I・a-II」を削除。
- ・佐藤宏子(兼任)教授、担当科目調整により「家族とジェンダー」を追加。
- ・嶋根歌子(兼任)教授、退職により削除。
- ・庄司紀佐(兼任)教授、コロナ感染拡大防止による担当科目調整のため「加齢と高齢者の科学」を削除。
- ・日向清人(兼任)教授、退職により削除。
- ・湊久美子(兼任)教授、兼担教員退職に伴う休講のため「社会貢献と実践」を削除。
- ・秦泉寺(飯島)友紀(兼任)准教授の教授昇任により、職名を准教授(兼任)から教授(兼任)に変更。
- ・藤丸麻紀(兼任)教授、役職者コマ数減により「経済の仕組み」を削除。
- ・梅山聡昇任により、職名を助教(から准教授)に変更。
- ・星野文字昇任により、職名を助教から准教授に変更。
- ・加藤紫謙昇任により、職名を(特任)教授(兼任)から准教授(兼任)に変更。
- ・清水冬樹准(兼任)教授、退職により削除。
- ・弓削田綾乃(兼任)准教授、クラス増に伴う担当科目調整のため「フィットネス実習」を追加。
- ・ベンジャミン・オーラ(兼任)講師、コロナ感染拡大防止のため「海外語学研修」を削除。
- ・内田翔大(兼任)助教、コロナ感染拡大防止のため「海外語学研修」を削除。
- ・甲斐眞理子(兼任)助教、担当科目調整により「現代の教育」を削除。
- ・中村光絵(兼任)助教、コロナ感染拡大防止による担当科目調整のため「現代の教育」を削除。
- ・石川圭一(兼任)講師、担当科目調整により「漢字・かな文字の変遷」を削除。
- ・戸田里和(兼任)講師、退職により削除。
- ・野村和孝(兼任)講師、退職により削除。
- ・服部裕美子(兼任)講師、退職により「ホスピタリティ」を削除。後任未定。
- ・加藤はるか(兼任)講師、就任により「歴史学」を追加。
- ・金範洙(兼任)講師、コロナ感染拡大防止のため「海外文化研修」を削除。
- ・クリストファー・トンプソン・リットン(兼任)講師、担当科目調整により「英語b-I」「英語b-II」を削除。
- ・佐藤深(兼任)講師、退職により削除。
- ・ドイチェマン・サラ・ミヨシ(兼任)講師、担当科目調整により「英語b-I」「英語b-II」を削除。
- ・中島幹人(兼任)講師、退職により削除。
- ・小泉 晋一(兼任)講師、就任により「アサーティブコミュニケーション」を追加。
- ・小野眞嗣(兼任)助教、担当科目調整により「文化遺産に学ぶ」を追加。
- ・桑原里美(兼任)助教、担当科目調整により「看護の知識」を追加。
- ・竹島信夫(兼任)准教授、担当科目調整により「英語b-I」「英語b-II」を追加。
- ・田代和美(兼任)教授、就任により「こどもと育児」を追加
- ・二宮祐子(兼任)准教授、担当科目調整により「社会福祉の展望」を追加
- ・森本美紀(兼任)准教授、担当科目調整により「ファッションの文化」を追加
- ・矢野誠慈郎(兼任)教授、就任により「現代の教育」を追加
- ・矢野明宏(兼任)講師、就任により「加齢と高齢者の科学」を追加。

【令和3年度】

- ・白鳥孝子教授、AC資格審査により「成人看護援助Ⅱ」追加。
- ・鶴淵礼子助教、退職により削除
- ・山下尚美助教、退職により削除。
- ・岡島(中西) 志野助教、退職により削除。
- ・吉水清助教、AC資格審査により「災害と地域看護活動」「看護研究Ⅲ」追加。
- ・平山香代子(専任)准教授、担当科目調整により「在宅看護援助Ⅰ」を削除。
- ・天谷尚子助教就任。令和2年7月教員審査済み。
- ・永田美和助教就任。令和3年1月教員審査済み。
- ・恩田清美講師退職により令和2年9月21日渡邊久美助教就任。令和2年7月教員審査済み。
- ・迫村純男(兼任)教授、退職により削除。
- ・湊久美子(兼任)教授、担当科目調整により「社会貢献と実践」を追加。
- ・山下景秋(兼任)教授、退職により削除。
- ・佐藤淳一(兼任)准教授、担当科目調整により「ベーシックラーニング」「表現と創作」を削除。
- ・杉浦令子(兼任)の昇任により、職名を准教授から教授に変更。
- ・寺島雄(兼任)准教授、退職により削除。
- ・上村明(兼任)の昇任により、職名を助教から准教授に変更。
- ・木村尚志(兼任)准教授、担当科目調整により「表現と創作」を削除。
- ・鈴木葉子(兼任)教授、担当科目調整により「生命と医療の倫理」を削除。
- ・竹島信夫(兼任)教授、退職により削除。
- ・原子はるみ(兼任)教授、退職により「こどもと育児」を削除。
- ・森本美紀(兼任)准教授、担当科目調整により「ファッションの文化」を削除。
- ・奈良玲子(兼任)助教、(兼任)講師から(兼任)助教の就任により「キャリアデザイン」、「社会貢献と実践」を担当。
- ・深澤博美(兼任)准教授、就任により「ベーシックラーニング」「日本の文学」「表現と創作」を担当。
- ・吉山さやか(兼任)助教、就任により「手書き文字の世界」を担当。
- ・田中佑樹(兼任)助教、就任により「心理の科学」を担当。
- ・加藤文代(兼任)助教、就任により「生命と医療の倫理」を担当。
- ・山本貴恵(兼任)助教、担当科目調整により「海外語学研修」を担当。
- ・内田翔大(兼任)助教、担当科目調整により「海外語学研修」を担当。
- ・辻りこ(兼任)助教、就任により「英語b-I」「英語b-II」を担当。
- ・大石時子(兼任)講師、就任辞退により削除。
- ・加藤将貴(兼任)講師、担当科目調整により「経済の仕組み」を追加。
- ・河野公子(兼任)講師、退職により削除。
- ・日下部貴(兼任)講師、吉水清(専任)助教「災害と地域看護活動」担当により削除。
- ・近藤(佐藤)麻理(兼任)講師、就任辞退により削除。
- ・吉米地剛子(兼任)講師、就任辞退により削除。
- ・山崎みつ江(兼任)講師、就任辞退により削除。
- ・鹿倉仕史(兼任)講師、退職により削除。
- ・川嶋充(兼任)講師、退職により削除。
- ・酒井博美(兼任)講師、退職により削除。
- ・菅原令子(兼任)講師、退職により削除。
- ・奈良玲子(兼任)講師、令和3年度より(兼任)助教として就任のため削除。
- ・原田光子(兼任)講師、任期満了に伴う退職により削除。
- ・田中 公子(兼任)講師、就任により「ホスピタリティ」を担当。
- ・野口眞貴子(兼任)講師、就任により「国際理解と看護」を担当。
- ・土屋勇人(兼任)講師、就任により「栄養学」を担当。
- ・小林弥那美(兼任)講師、就任により「哲学への誘い」を担当。
- ・三根良治(兼任)講師、就任により「漢字・かな文字の変遷」を担当。
- ・田中道弘(兼任)講師、就任により「心理の科学」を担当。
- ・佐藤深(兼任)講師、就任により「女性と美容」を担当。
- ・松田麻子(兼任)講師、就任により「英語b-I」「英語b-II」を担当。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を挙げずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇〇月教員審査済み」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
12	10	7	6	35	7	10	10	5	7	32	6
(11)	(9)	(5)	(4)	(29)	(7)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	10	5	7	32	6	11	10	5	9	35	7
[Δ2]	[0]	[Δ2]	[1]	[Δ3]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[Δ2]	[3]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	4	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{32}{35} = \boxed{91.42} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{4}{32} = \boxed{12.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{6}{7} = \boxed{85.71} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	教授	篠原 百合子	H29. 11	必修	基礎ゼミ	①	H29. 11一身上の都合のため就任辞退（30）		
				必修	看護学セミナー	①			
				必修	精神看護学概論	①			
				必修	精神看護援助論Ⅰ	①			
				必修	精神看護援助論Ⅱ	①			
				必修	精神看護学実習	①			
				必修	看護研究Ⅱ	①			
2	准教授	立川 茂樹	H29. 9	必修	基礎ゼミ	①	H29. 9一身上の都合のため就任辞退（30）		
				必修	看護学セミナー	①			
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①			
				選択	公衆衛生看護学概論Ⅰ（地域）	①			
				選択	公衆衛生看護学概論Ⅱ（学校保健）	①			
				必修	公衆衛生看護学概論Ⅲ（産業保健）	①			
				選択	公衆衛生看護学概論Ⅳ（地域診断）	①			
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅰ（市町村）	①			
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健所）	①			
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業・学校保健）	①			
				必修	看護研究Ⅱ	①			
				必修	看護研究Ⅲ	①			
3	講師	小野坂 益成	H29. 11	必修	基礎ゼミ	①	H29. 11一身上の都合のため就任辞退（30）		
				必修	看護学セミナー	①			
				必修	精神看護援助論Ⅰ	①			
				必修	精神看護援助論Ⅱ	①			
				必修	精神看護学実習	①			
				必修	看護研究Ⅱ	①			
				必修	看護研究Ⅲ	①			
4	講師	嶋野 ひさ子	H31. 3	必修	基礎ゼミ	①	H31. 3一身上の都合のため就任辞退（元）		
				必修	看護学セミナー	①			
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①			
				必修	成人看護援助論Ⅰ	①			
				必修	成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）	①			
				必修	成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	①			
				必修	看護研究Ⅱ	①			
				必修	看護研究Ⅲ	①			
5	助教	日野 徳子	H30. 10	必修	基礎ゼミ	①	H30. 10一身上の都合のため就任辞退（元）		
				必修	看護学セミナー	①			
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①			
				必修	成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）	①			
				必修	成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	①			
				必修	老年看護学実習Ⅰ（施設）	①			
				必修	老年看護学実習Ⅱ（病院）	①			
				必修	看護研究Ⅱ	①			
				必修	看護研究Ⅲ	①			
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
5	人	必修	42 科目	必修	42 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	6 科目	選択	6 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	48 科目	計	48 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	原田 光子	R2.3	必修	基礎ゼミ	①	R2.3.31付 一身上の都合のため辞任 (2)		
				必修	看護学セミナー	①			
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①			
				必修	在宅看護学概論	①			
				必修	在宅看護援助論Ⅰ	①			
				必修	在宅看護援助論Ⅱ	①			
				必修	看護治療技術演習	①			
				必修	在宅看護学実習	①			
				必修	看護研究Ⅱ	①			
				必修	看護研究Ⅲ	①			
				必修	看護の統合実践実習	①			
2	教授	渡邊 知子	R2.3	必修	基礎ゼミ	①	R2.3.31付 一身上の都合のため辞任 (2)		
				必修	看護学セミナー	①			
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①			
				必修	成人看護学概論	②			
				必修	成人看護援助論Ⅱ	②			
				必修	成人看護援助論Ⅲ	①			
				必修	成人看護学実習Ⅰ (急性期・回復期)	①			
				必修	成人看護学実習Ⅱ (慢性期)	①			
				必修	看護研究Ⅱ	①			
				必修	看護研究Ⅲ	①			
				必修	看護の統合実践実習	①			
3	講師	恩田 清美	R2.3	必修	基礎ゼミ	①	R2.3.31付 一身上の都合のため辞任 (2)		
				必修	看護学セミナー	①			
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①			
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①			
				必修	小児看護援助論Ⅰ	①			
				必修	小児看護援助論Ⅱ	②			
				必修	小児看護学実習	①			
				選択	看護マネジメント	①			
				必修	看護研究Ⅱ	①			
				必修	看護研究Ⅲ	①			
				必修	看護の統合実践実習	①			
4	助教	井上 智栄子	R2.3	必修	基礎ゼミ	①	R2.3.31付 一身上の都合のため辞任 (2)		
				必修	看護学セミナー	①			
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①			
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①			
				必修	成人看護学実習Ⅱ (慢性期)	①			
				必修	老年看護学実習Ⅲ (包括支援センター)	①			
				必修	在宅看護学実習	①			
必修	看護の統合実践実習	①							
5	助教	岡島 (中西) 志野	R3.3	必修	基礎ゼミ	①	R3.3.31付 一身上の都合のため辞任 (3)		
				必修	看護学セミナー	①			
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①			
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①			
				必修	成人看護学実習Ⅰ (急性期・回復期)	①			
				必修	成人看護学実習Ⅱ (慢性期)	①			
				必修	老年看護学実習Ⅰ (施設)	①			
必修	看護の統合実践実習	①							
6	助教	鶴淵 礼子	R3.3	必修	基礎ゼミ	①	R3.3.31付 一身上の都合のため辞任 (3)		
				必修	看護学セミナー	①			
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①			
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①			
				必修	母性看護学実習	①			
				必修	看護の統合実践実習	①			
7	助教	山下 尚美	R3.3	必修	基礎ゼミ	①	R3.3.31付 一身上の都合のため辞任 (3)		
				必修	看護学セミナー	①			
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①			
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①			
				必修	成人看護援助論Ⅰ	①			
				必修	成人看護援助論Ⅱ	①			
				必修	成人看護援助論Ⅲ	①			
				必修	成人看護学実習Ⅰ (急性期・回復期)	①			
				必修	成人看護学実習Ⅱ (慢性期)	①			
				必修	老年看護学実習Ⅰ (施設)	①			
				必修	老年看護学実習Ⅱ (病院)	①			
				必修	看護研究Ⅱ	①			
				必修	看護研究Ⅲ	①			
必修	看護の統合実践実習	①							
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
7	人	必修	68 科目	必修	65 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	69 科目	計	66 科目	計	3 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
12 人	必修	110 科目	必修	107 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
	選択	7 科目	選択	7 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	117 科目	計	114 科目	計	3 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{35} = 34.28 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

3 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成29年度・平成30年度に就任辞退のあった専任教員5名については、平成31年4月および令和2年4月に教授1名、講師1名、助教3名の補充を行った。令和元年度の退職者4名については、令和2年4月に准教授1名を、9月に助教2名を補充した。令和2年度退職者3名については、令和3年4月に助教2名を補充した。
 令和元年度退職者1名(助教)および令和2年度退職者2名(助教)のうち現在AC審査中の1名を除いた2名については、今年度中の採用を目指して引き続き公募中である。
 3名が担当予定の授業科目については、前期科目については、既に非常勤講師および他の専任教員で対応する手当てをとっている。後期科目については、現在AC審査中の教員を含め3名の採用が可能となった場合は各教員が担当するが、採用が継続となれば、他の専任教員と非常勤講師とで対応する。
 なお、本学部の領域会議を実質的な単位として、教育上の引継ぎや学生へのフォローを行っているため、教員上問題はない。学生に対しては、教員一覧をホームページ上に掲載するとともに、今年度は看護学部で、新型コロナウイルスの感染予防対策を十分に行った上で集合ガイダンスを実施して説明するとともに、欠席学生対応として、双方向システムであるマナビコースでも周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成30年)	1. 保健師課程を希望する学生に対して、履修指導において保健師に係る人材需要や地域の実情等をしっかりと説明すること。	留意事項 履修ガイダンスにおいて、1年生全員に対し、保健師に係る人材需要や千葉県地域の実情をしっかりと説明した。(30)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和1年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成30年度からは、全体協議会を廃して新設した「大学評議会」にて、FDの計画と実施及び自己点検を、引き続き担当している。 ※別添「和洋女子大学大学評議会規程」

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

大学評議会は、学長が議長となり、月2回開催することになっている。構成員は、学長・副学長・学部長等・部門長等・事務局長である。なお、会議で決議された事項を速やかに実施するために、事務局部長等(5名)が陪席している。令和2年度は合計21回開催され、全員が出席している。

c 委員会の審議事項等

審議事項は、大学の運営に関わる事項についてである。特に次の事項については、担当制とし、責任をもって行うこととしている。①大学認証評価、②教員評価、③高大接続、④目標と計画(2年計画)、⑤授業評価アンケート、⑥学生生活アンケート、⑦FD企画立案

② 実施状況

全学FDの開催状況

第1回目：令和2年4月1日 内容：新任教員に対する本学の教育理念ほかについて

講師：学長 出席者：13名（出席率100%）

第2回目：令和2年6月25日 内容：「(1)大学評価の概要等—大学基準の概要③内部質保証の機能化」

講師：大学基準協会 動画コンテンツ視聴 出席者：123名（出席率93.2%）

第3回目：令和2年9月15日 内容：「遠隔授業について—実施事例のご紹介—」

講師：各学部より選出 出席者：120名（出席率89.6%）

看護学部FDの開催状況

看護学部・看護学科FD：令和2年10月12日

内容：「シミュレーション教育に関する研修会～コロナ禍におけるシミュレーションを用いた遠隔教育～」

講師：一般社団法人日本私立看護系大学協会主催研修会（オンライン外部研修）

出席者：26名（対象者33名）（78.8%）

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期に各1回実施している。

※前期はコロナ禍のため、遠隔で開講された授業のみ対象とした。

b 教員や学生への公開状況、方法等

結果を各授業担当者に公開するとともに、評価結果を分析・各教員の所感等をまとめた報告書を作成し、学内ネットワークを通じて教職員に対して開示している。また、所感を除いた報告書は大学ホームページで公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

超高齢社会における地域医療及び高度先進医療を担う看護師・保健師の養成を目指して、平成30年4月に看護学部を設置し、3年が経過した。ヒューマンケアの理念に基づき、ホスピタリティと確かな専門知識、高いコミュニケーション能力、豊かな人間性と倫理観をもち、多職種と協働し、生涯学び続ける意欲をもった質の高い看護師・保健師を育てることを目的としている。

2020年度までの主な教育活動について総括する。まず、2020年度はCOVID-19パンデミックによる教育活動が大きく制限或いは変更を余儀なくされた。

1. 入学者は千葉県内、埼玉、茨城、神奈川、山梨などの隣接県、東京都から選抜に十分な応募者を得ていたが、2021年度入試では、前年比50%の応募者減であった。

2. 教育課程においては、カリキュラムポリシーにもとづき3年次までの教育計画を履行した。2020年度は、対面授業が制限されたため、25.8%遠隔リアルタイム授業、23%遠隔オンデマンド授業、50.8%が面接受業のハイブリッド授業をおこなった。特に多くの専門科目が開講される2年次生の学習到達度については授業評価が必要である。

3年次9月から2月まで各看護学臨地実習がおこなわれた。実習施設の中、特に病院の受け入れ辞退があり、成人看護学13.2%、小児看護学28.7%、母性看護学61.7%、老年看護学38.2%、精神看護学47.8%は学内実習に切り替えた。実習に際してCOVID-19感染症対策が大きな課題となり対策マニュアルのなどを作成し運用した。

入学式、卒業式を始め短期留学その他の行事が対面で中止となりオンラインでおこなわれた。

3. 教員組織は学部運営、開講科目に必要な十分な員数を配置している(S/T比7.9)。

専門教科指導の他、初年次教育(看護学セミナー、基礎ゼミ)では、アカデミックスキルの習得と大学生活への適応を支援している。また、4年次まで学生15人程度に教員1人がアドバイザーとして学習・生活指導に当たった。経済的事情により修学が困難な学生への奨学金給付など学生課及び関連部署と連携しながら指導に当たっている。2020年度は特別な状況下であったが深刻な相談や休学・退学の増加などは見られなかった。

教育目的を達成するためのカリキュラム・教員組織、学習環境をはじめとする初年度～3年次の教育計画は一つずつ課題を解決しながら順調に履行されていると考える。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成27年4月 公表

b 公表方法

・点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

平成26年度に評価機関(公益財団法人大学基準協会)による評価の結果、適合と認定された。

認定の期間は2022年3月までであり、2021年度に3回目の認証評価を受審する。

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和3年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○和洋女子大学大学評議会規程

（設置）

第1条 和洋女子大学学則第8条の規定に基づき、本学に大学評議会（以下「本会」という。）を置く。

（目的）

第2条 本会は、大学の充実と運営の効率化を図るため、大学運営等に関する重要な以下の事項について、審議を行うとともに、必要な連絡調整を行うことを目的とする。

（1）大学の将来構想及び中期計画・目標の企画立案に関する事項

（2）教員人事に関する事項（採用に伴う手続きは別に定める）

（3）自己点検及び評価の企画・実施に関する事項

（4）FD（ファカルティ・ディベロップメント）に関する事項

（5）学長が必要と認めた事項

2 本会は、審議した事項について、必要に応じて教授会に報告しなければならない。教授会は、特に必要がある場合には、本会が審議した事項について、改めて審議し、本会に意見を述べることができる。

（構成員）

第3条 本会は、学長、副学長、学部長、部門長、図書館長、事務局長をもって構成する。

2 本会が必要と認めたときは、前項の規定に関わらず、その他の教職員の出席を求め、意見を聴くことができる。

（会議）

第4条 本会は、原則として定期開催する。ほかに、学長が必要と認めたとき、又は構成員の2分の1以上の要求があったときは、学長がこれを招集する。

2 本会は大学院評議会と合同で開催することができる。

（議長）

第5条 本会の議長は、学長がこれに当たる。

2 学長に支障があるときは、学長があらかじめ指名する者がこれを代行する。

（成立要件）

第6条 本会は、委任状を含めて構成員（国内研修派遣者、海外研修派遣者、退職者、育児休業者及び介護休業者を除く。）の3分の2以上の出席をもって成立する。

（議決）

第7条 本会の議決ならびに教授会の審議結果を参酌し、学長は事項に関する方針を決定する。

（議事の公開）

第8条 本会の議事は、非公開とする。

（庶務）

第9条 本会の庶務については、庶務課が担当する。

（規程の改廃）

第10条 この規程の改廃は、和洋学園諸規程の管理規程の定めによる。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から制定施行する。

本規程の制定により、和洋女子大学大学運営会議規程（平成27年4月1日制定施行）、全体協議会規程（平成10年3月17日制定施行）及び全体協議会運営規程（平成10年3月17日制定）については、平成30年3月31日をもって廃止する。

附 則

この規程は、2020年4月1日から改正施行する。